

建学の精神

公正な社会観・倫理観の涵養

教育理念

商学部は公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、
徹底した少数教育を通じて実力と創造力を
そなえた有能な社会人を育成することを目的とする

単なる知識の伝達ではなく、人間を基調とした全人格の形成を求め「商学部は公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする」。時代が大きく変わろうとしている今、社会も、そして大学自体も変わっていかなくてはなりません。その様な状況のもと、教育理念という普遍のテーマをベースに、高度に多様化していく時代に対応すべく、より具体的に進化した教育プログラムを構築し、学生の個性や可能性を大きく伸ばしていくことを教育の原点としています。

学校法人 中央学院 沿革

明治 33 年 (1900 年)	「日本橋簡易商業夜学校」設立
明治 35 年 (1902 年)	「中央商業学校」開校
昭和 23 年 (1948 年)	商業学校を廃し新学制による「中央高等学校」を設置、 商業科、普通科を置く
昭和 26 年 (1951 年)	「学校法人中央学院」設置 「中央商科短期大学」設置
昭和 30 年 (1955 年)	「中央商業高等学校」設置
昭和 41 年 (1966 年)	「中央学院大学」商学部商学科設置 (千葉県我孫子市)
昭和 43 年 (1968 年)	「淡江大学 (台湾)」と合作交流協議書調印
昭和 45 年 (1970 年)	「中央学院高等学校」設置 (千葉県我孫子市)
昭和 51 年 (1976 年)	「メンフィス大学 (米国)」と姉妹校協定書調印
昭和 60 年 (1985 年)	「中央学院大学」法学部法学科開設
平成 10 年 (1998 年)	「中央商業高等学校」を「中央学院大学中央高等学校」と改称
平成 11 年 (1999 年)	「大邱大学校 (韓国)」と学術交流に関する協定書調印
平成 13 年 (2001 年)	「中央学院大学中央高等学校」を江東区亀戸に移転 「中央商科短期大学」廃止
平成 14 年 (2002 年)	法人創立 100 周年を迎える
平成 18 年 (2006 年)	「中央学院大学」大学院商学研究科開設
平成 20 年 (2008 年)	「京畿大学校 (韓国)」と学術交流に関する協定書調印
平成 21 年 (2009 年)	「長春工業大学 (中国)」と学術交流に関する協定書調印

CONTENTS

■商学部

1. 商学部カリキュラム概要と特色	1
2. 授業科目について	4
3. 科目の履修方法	1 5
4. 試験・成績評価	2 2
5. 卒業	2 4
6. コース変更・転学部	2 5
7. 教職課程	2 6
8. その他	4 2

[巻末折り込み] 商学部各コース科目表

1. 商学部カリキュラム概要と特色

1 学位

商学部で卒業要件を満たすことにより、以下の学位が授与されます。なお、学位の授与は卒業式（学位記授与式）で行われます。

学士（商学）

2 セメスター制

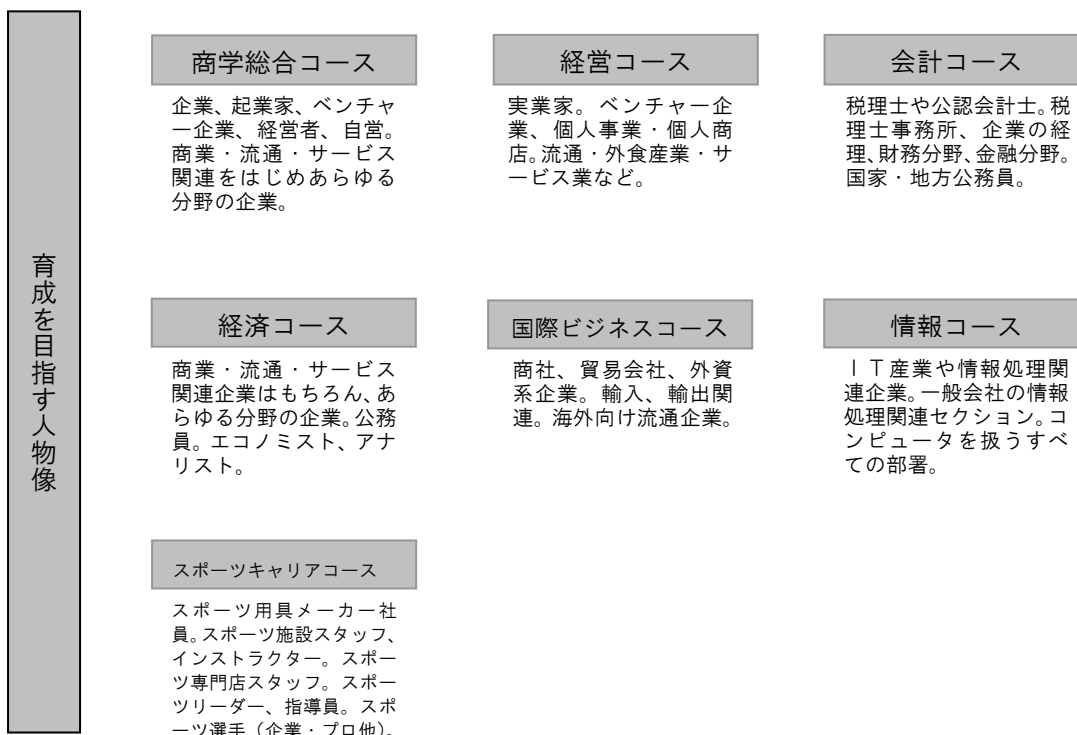
商学部ではセメスター制を導入しています。「学期制」の意味で、本学では1年間を春と秋の2学期に分け、それぞれの学期で授業が終了し、単位が認定されます。4月から始まる学期を「春セメスター」、9月から始まる学期を「秋セメスター」と呼びます。

3 修業年限

商学部の修業年限は4年間（8セメスター）です。休学期間を除き、8年間で在籍することはできません。

4 コース制

商学部では7コースに分かれてのカリキュラムが用意されています。1年次では共通科目を学び、2年次から目的に合わせて各コースに分かれて学習します。



5 アカデミック・アドバイザー制度

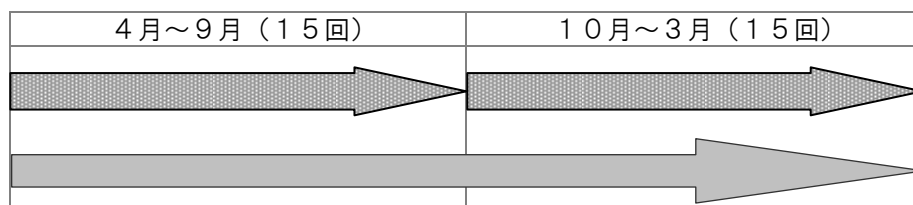
本学の特徴である少人数教育の一環として、アカデミック・アドバイザーである教員が学生の大学生活について指導・助言を行う制度です。これは学生が入学から卒業まで安心して大学生活を送ることを目的としています。

1年次に必修科目として履修する「プロゼミナール」を担当した教員が、そのまま卒業するまで、アカデミック・アドバイザーとなります。

困ったこと、悩み事などがあったときは、まずアカデミック・アドバイザーに相談してください。

6 授業の形態と取得できる単位数

- ① 1 科目の授業は毎週 1 回（90 分）を標準とします。
- ② 科目の形態は大きく分けると「**セメスター科目**」「**通年科目**」に分かれます。
 - ・「**セメスター科目**」とは、半期（セメスター）[週 1 回×15 週]の科目をいいます。
 - ・「**通年科目**」とは、1 年間（春・秋セメスター）[週 1 回×30 週]の科目をいいます。



- ・ 授業は通常週 1 回、講義、演習、または実技等の授業を実施します。
 - ・ 科目によっては、「**集中授業**」という形で実施するものがあります。「**集中授業**」の場合、「**セメスター科目**」は 15 回分の授業を、「**通年科目**」は 30 回分の授業を、集中的に決まった期間（主に学年暦に記載されている集中講義期間）に実施します。
集中授業で実施される科目は『**講義時間割**』の最終ページに記載されています。期間や申込方法などは、年度のはじめに実施されるガイダンスや掲示などでお知らせします。
- ③ 授業の内容は大きく分けると「**講義科目**」「**演習科目**」に分かれます。
 - ・「**講義科目**」とは、担当教員が講義により実施する科目です。
 - ・「**演習科目**」とは、担当教員の指導のもと、学生が自主的に学習する科目です。
 - ④ 「**単位**」は、あらかじめ登録した科目について授業で学習し、試験などの成績評価により合格することにより、**所定の単位数**が認定されます。
 - ⑤ 「**単位数**」は以下のとおり設定しています。

形 態	セメスター科目	通年科目
講 義	2 単位	4 単位
演 習		4 単位
プロゼミナール		2 単位
外 国 語	1 単位	
体 育	1 単位	
商学部入門講座 商学部卒業講座Ⅰ 商学部卒業講座Ⅱ		1 単位

7 授業時間

授業時間は、以下のとおりです。なお、**定期試験期間は時間が異なる**ので、定期試験開始1週間前に掲示される試験時間割の注意事項をよく確認してください。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00 ~10:30	10:40 ~12:10	12:50 ~14:20	14:30 ~16:00	16:10 ~17:40

8 補講

止むを得ない理由で授業が**休講**になることがあります。**休講**については、随時**教務課掲示板**でお知らせします。

この休講により授業回数が不足した場合、**補講期間**に授業を行い休講分を補います。これを**補講**といいます。

補講についても**教務課掲示板**でお知らせします。**通常の授業時間と異なる場合**もありますので、掲示をよく確認してください。

9 教職課程

「**教職課程**」は中学校・高等学校の教員を目指す学生のための課程です。

所定の単位を修得することにより、中学校[社会]・高等学校[商業][情報][公民][地理歴史]の「**教育職員免許状**」を取得することができます。

「**教育職員免許状**」の取得を希望する学生は1年次から所定の科目を履修する必要があります。

P26「7. 教職課程」で履修の方法を確認して、学習をすすめてください。

2. 授業科目について

1 科目系列と卒業所要単位

学士（商学）の学位を取得するには、以下の科目系列ごとに卒業に必要な単位数（卒業所要単位数）を修得することが必要です。

科目系列	卒業所要単位数	
	分類	合計
[1] 商学系列科目	必修科目 4単位 コース選択必修科目 16単位 選択科目 72単位	92単位
[2] 人文・自然系列科目	必修科目 6単位 選択科目 20単位	26単位
[3] 外国語系列科目	必修科目 6単位	6単位
[4] 体育科目	必修科目 2単位	2単位
[5] 留学生科目	(留学生必修科目 4単位) (留学生選択科目 16単位)	—
[6] 教職科目	P26「7. 教職課程」を参照	—
卒業所要単位数 合計	[1]～[4]まで（留学生は[5]まで）の要件をそれぞれ満たし126単位以上	

「必修科目」とは

必ず単位を修得しなければ卒業できない科目です。不合格の場合、再び履修（再履修）をします。再履修には再履修料がかかります。（P17参照）

「コース選択必修科目」とは

コースごとに定められた科目です。コースの履修方法に従ってください。

「選択科目」とは

科目系列ごとに設置された「選択科目」から自由に科目を履修し、卒業所要単位数を満たす科目です。

「留学生科目」とは

留学生対象の科目です。留学生は「留学生必修科目」を修得しなければなりません、その代わりに履修免除の一般科目もあります。詳細についてはP9「[5]留学生科目」を参照してください。

「教職科目」とは

教育職員免許状を取得するための課程に設置された教職課程専用の科目です。原則として卒業単位にはなりません。詳細はP26「7. 教職課程」を参照してください。

※次ページより、各系列別に必修科目・選択科目の詳細を記載します。

※各科目ごとの授業内容は毎年4月に配付される『講義要項（シラバス）』で確認できます。

2 科目系列ごとの履修科目

[1] 商学系列科目

① 必修科目（卒業所要単位：4 単位）

科 目 名		単位	配当年次
春セメスター	秋セメスター		
情報リテラシー	情報処理論	各 2 単位	1 年

② コース選択必修科目（卒業所要単位：各セメスターで定められた単位数を満たし、合計 16 単位）

- ◆ 16 単位以上修得した場合は、その余剰単位分は商学系列選択科目の単位になります。
- ◆ 他コースの科目は配当年次より上の学年であれば、選択科目として履修できます。
（ただし、事前登録の際、担当教員の許可を得た場合には、配当年次と同じ学年から選択科目として履修できます）
- ◆ 下記表中のコース選択必修科目の単位数は全て 1 科目 2 単位です。
- ◆ 各コースの必要単位数は、巻末の科目及び卒業所要単位数一覧を参照してください。

配当年次 コース	2 年次		3 年次		4 年次	
	春（第3）セメスター	秋（第4）セメスター	春（第5）セメスター	秋（第6）セメスター	春（第7）セメスター	秋（第8）セメスター
商学総合	商学総論 初級簿記Ⅰ マーケティング論	流通システム論 初級簿記Ⅱ マーケティング戦略論	経営学総論Ⅰ	経営学総論Ⅱ	流通戦略論Ⅰ	流通戦略論Ⅱ
経営	経営学総論Ⅰ 商学総論 近代商業史 初級簿記Ⅰ	経営学総論Ⅱ 流通システム論 現代商業史 初級簿記Ⅱ	経営管理基礎理論 経営組織論Ⅰ	経営管理応用理論 経営組織論Ⅱ	企業の財務活動	財務的意思決定
国際 ビジネス	国際貿易理論 国際ビジネス論	国際貿易政策 多国籍企業論	国際ビジネス戦略論 （理論編） 国際マーケティングの 基礎理論	国際ビジネス戦略論 （実践編） 国際マーケティング業務	ビジネスコミュニケーション論 国際ビジネス実務	異文化間コミュニケーション論 国際ビジネス実践
会計	中級簿記Ⅰ 上級簿記Ⅰ 会計学入門	中級簿記Ⅱ 上級簿記Ⅱ 会計制度論	財務諸表論	会計原則論	管理会計総論 所得税務会計	管理会計論 法人税務会計
経済	経済原論（近代経済学） Ⅰ 経済原論（マルクス経済学）Ⅰ 経済学史（経済学の誕生）	経済原論（近代経済学） Ⅱ 経済原論（マルクス経済学）Ⅱ 経済学史（経済学の発展）	入門公共経済学	応用公共経済学	近代経済政策 国際経済論 （世界経済の歴史）	現代経済政策 国際経済論 （世界経済の理論）
情報	コンピュータコミュニケーション プログラミングⅠ（COBOL） プログラミングⅠ（C） プログラミングⅠ（Java）	アプリケーション論 プログラミングⅡ （COBOL 応用） プログラミングⅡ（シエルフロ） プログラミングⅡ（Java）	コンピュータの構成 情報環境論 データベース	システム設計論 ネットワーク論 Webデータベース	シミュレーション e-コマース	経営科学 コンテンツ開発
スポーツ キャリア	スポーツキャリア実践講座Ⅰ フィットネス概論Ⅰ スポーツ指導論Ⅰ スポーツ組織論Ⅰ	スポーツキャリア実践講座Ⅱ フィットネス概論Ⅱ スポーツ指導論Ⅱ スポーツ組織論Ⅱ	スポーツキャリア実践講座Ⅲ スポーツ心理学Ⅰ スポーツ経営論Ⅰ	スポーツキャリア実践講座Ⅳ スポーツ心理学Ⅱ スポーツ経営論Ⅱ	スポーツ広報論Ⅰ スポーツビジネス論Ⅰ	スポーツ広報論Ⅱ スポーツビジネス論Ⅱ
共通	商学部入門講座（1 単位） （配当年次は 1 年次） 商学部卒業講座Ⅰ・商学部卒業講座Ⅱ（各 1 単位） （配当年次は 4 年次） ◆ コース選択必修科目が不合格になった場合、この講座を修得していれば不足している 1 単位分に振り替えられる。 また、コース選択必修科目を各セメスターの条件を満たし 16 単位分を合格した場合は、この講座を修得している場合の各 1 単位は選択科目の単位となる。					

③商学系列選択科目（卒業所要単位：72単位）

◆演習、外国書講読等の科目は『講義要項（シラバス）』を参照してください。

◆選択科目は自由に履修することができますが、P18～21「コース別履修モデル表」を参考に履修することを推奨します。

科 目 名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
商学総論	流通システム論	各2単位	1～4年
商業数学	数理計画法		
情報社会と倫理			
情報数学	経営数学		
情報科学概論	マルチメディア論		
初級簿記Ⅰ	初級簿記Ⅱ		
日本古代・中世経済史	日本近世・近・現代経済史		
民法総則	物権法		
海外研修特別講座（事前研修）	海外研修特別講座（実地研修）	各2単位	2～4年
会計情報論	会計情報システム論		
開発経済学	開発政策論		
株式会社と証券市場	経済と株価		
近代金融論	現代金融論		
近代日本経済論	現代日本経済論		
経済地理の諸問題	経済地理の諸研究		
経済法Ⅰ	経済法Ⅱ		
原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ		
広告論	広告政策論		
物流論	物流産業論		
国際ビジネス環境論（事前研修）	国際ビジネス環境論（実地研修）		
国際流通論	国際流通システム論		
債権法総論	債権法各論		
産業心理学	人事教育心理学		
市場論	市場戦略論		
社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ		
商業政策総論	流通政策論		
消費経済学（家計と企業）	消費経済学（家計と政府）		
商法総則・会社法総論	会社法各論		
情報と職業			
税法Ⅰ	税法Ⅱ		
ソフトウェア論			
手形・小切手法総論	手形・小切手法各論		
統計学	応用統計学		
入門国民所得論	応用国民所得論		
入門計量経済学	応用計量経済学		
ビジネス実践講座「株式投資論」			
ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」	ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」		
マーケティングシステム論	マーケティング情報論		
リスク・マネジメント論Ⅰ	リスク・マネジメント論Ⅱ		
労働法の基礎	労働法の応用		
国際通貨	外国為替	各2単位	3～4年
監査制度論	監査報告論		
近代中小企業論	現代中小企業論		
財務諸表分析	企業評価論		
福祉国家の歴史的背景	福祉国家の理論的背景		
労務管理	人事管理		
メディアデザイン			
外国書講読1	外国書講読2	各2単位	3年
外国書講読3	外国書講読4		4年
演習Ⅰ（通年）		各4単位	2年
演習Ⅱ（通年）			3年
演習Ⅲ（卒業論文指導）			4年

[2]人文・自然系列科目

①必修科目（卒業所要単位：6単位）

科 目 名		単位	配当年次
春semester	秋semester		
日本語表現Ⅰ	日本語表現Ⅱ	各2単位	1年
プロゼミナール（通年）		2単位	1年

②選択科目（卒業所要単位：20単位）

- ◆20単位以上修得した場合、その余剰単位分は商学系列選択科目の単位になります。ただし、上限がありますので、P13「**9**単位の振り替えについて」を参照してください。
- ◆総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱ等の履修については、P12「**8**アクティブセンターの講座」を参照してください。

科 目 名		単位	
春semester	秋semester		
外国文化研究Ⅰ	外国文化研究Ⅱ	各2単位	1～4年
基礎法学	応用法学		
経済学Ⅰ	経済学Ⅱ		
言語学Ⅰ	言語学Ⅱ		
現代社会論Ⅰ	現代社会論Ⅱ		
憲法	法学		
自然科学概論Ⅰ	自然科学概論Ⅱ		
自然地理学Ⅰ	自然地理学Ⅱ		
社会学Ⅰ	社会学Ⅱ		
女性学Ⅰ	女性学Ⅱ		
人文地理学Ⅰ	人文地理学Ⅱ		
心理学Ⅰ	心理学Ⅱ		
数学Ⅰ	数学Ⅱ		
スポーツ健康科学概論Ⅰ	スポーツ健康科学概論Ⅱ		
政治学Ⅰ	政治学Ⅱ		
生物学Ⅰ	生物学Ⅱ		
総合講座「アクティブセンター」Ⅰ	総合講座「アクティブセンター」Ⅱ		
総合講座「現代社会を考える」Ⅰ	総合講座「現代社会を考える」Ⅱ		
総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅰ	総合講座「スピーチ&コミュニケーション」Ⅱ		
総合講座「チャレンジ就職」Ⅰ	総合講座「チャレンジ就職」Ⅱ		
総合講座「人間と自然」Ⅰ	総合講座「人間と自然」Ⅱ		
地学Ⅰ	地学Ⅱ		
地球環境論	自然環境論		
哲学Ⅰ	哲学Ⅱ		
日本語操作法Ⅰ	日本語操作法Ⅱ		
物理学Ⅰ	物理学Ⅱ		
文学演習Ⅰ	文学演習Ⅱ		
文化人類学Ⅰ	文化人類学Ⅱ		
倫理学Ⅰ	倫理学Ⅱ		
歴史学（世界史）Ⅰ	歴史学（世界史）Ⅱ		
歴史学（日本史）Ⅰ	歴史学（日本史）Ⅱ		
論理学Ⅰ	論理学Ⅱ		
平和学Ⅰ	平和学Ⅱ		

[3]外国語系列科目

①必修科目（卒業所要単位：6単位）

分類	科目名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
第一外国語	英会話	英語リスニング・スピーキング(LL)	各1単位	1年
	英語リーディング・ライティング1	英語リーディング・ライティング2		
	総合英語1	総合英語2		2年

②選択科目（卒業所要単位：0単位）

◆外国語系列の選択科目は、同一言語の4単位を揃えて修得していることを条件に、商学系列選択科目の単位とする（単位の振り替えをする）ことができます。

ただし、第二外国語はいずれか1言語のみが卒業単位の対象となります。また、全体の振り替え単位数に上限がありますので、P13「⑨単位の振り替えについて」を参照してください。

なお、卒業単位にはならなくても、複数言語を履修することができます。

◆外国語系列の選択科目は、1から4まで順番に同じ言語を履修してください。

分類	科目名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
第一外国語	英語特別講座1	英語特別講座2	各1単位	2～4年
	英語特別講座3	英語特別講座4		3・4年
	英語上級講座1	英語上級講座2		2～4年
	英語上級講座3	英語上級講座4		3・4年
第二外国語 ※卒業単位として振り替えられる対象は1言語のみ。	ドイツ語1	ドイツ語2	各1単位	1～3年
	ドイツ語3	ドイツ語4		2～4年
	フランス語1	フランス語2		1～3年
	フランス語3	フランス語4		2～4年
	中国語1	中国語2		1～3年
	中国語3	中国語4		2～4年
	コリア語1	コリア語2		1～3年
	コリア語3	コリア語4		2～4年

[4]体育科目

①必修科目（卒業所要単位：2単位）

科目名	科目名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
健康スポーツ実技I	健康スポーツ実技II	各1単位	1年	

②選択科目（卒業所要単位：0単位）

◆体育科目は全て実技です。保健体育科目としては、人文・自然系列科目「スポーツ健康科学概論I・II」があります。

◆体育科目の選択科目の合計4単位を全て修得した場合に限り、商学系列選択科目の単位とすることができます。

◆体育科目の選択科目は全て1単位です。

科目名	科目名		単位	配当年次
	春semester	秋semester		
スポーツ文化実技I	スポーツ文化実技II	各1単位	2～4年	
生涯スポーツ実技I	生涯スポーツ実技II			

[5]留学生科目

- ◆留学生は以下の必修科目を修得しなければなりません。
- ◆留学生以外の学生は履修できません。
- ◆以下の単位は、最大16単位までを人文・自然系列選択科目に振り替えます。

①必修科目（卒業所要単位：4単位）

科 目 名		単 位	配当年次
春semester	秋semester		
日本事情A	日本事情B	各2単位	2年

②選択科目

科 目 名		単 位	配当年次
春semester	秋semester		
日本語読解1	日本語読解2	各1単位	1～4年
日本語作文1	日本語作文2		
日本語表記1	日本語表記2		
日本語会話1	日本語会話2		
日本語特講1	日本語特講2		
日本語理解1	日本語理解2		
日本語上級1	日本語上級2	各1単位	2～4年
日本語上級3	日本語上級4		

3 商学部入門講座

商学の幅広い領域を見渡し、商学が日常生活とどう関わっているのかを学ぶ授業として1年次に「商学部入門講座」を設置しています。商学の楽しさを知り、2年次から各コースで学べる内容を知ること、自分の学びたいことを発見し、自分に最適なコースを選択できるようになります。7コースの担当教員がオムニバス形式で授業をおこないます。

なお「商学部入門講座」の単位を修得していれば、コース選択必修科目を履修し不合格だった場合に、この講座の単位（1単位）を振り替えることができます。コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たしている場合には、この講座の単位は商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

4 プロゼミナール

1年次の必修科目として設置されている「プロゼミナール」は、大学生活に適応し、専門的知識の学習に備えるための科目です。少人数のクラスを編成し、アカデミック・アドバイザーが指導と助言を行います。教養を深め、専門知識を学ぶために必要な学習方法を学ぶとともに、アカデミック・アドバイザーやクラスの仲間とのコミュニケーションによって、社会的スキルと常識を身につけます。

5 演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（ゼミナール）

「演習（ゼミナール）」とは、同じ研究テーマに関心を持つ学生が、数名から20名程度集まり、教員の指導やアドバイスを受けながら自主的に研究を進めていく授業のことです。

この科目は2年次からの選択科目です。希望の研究分野について、卒業までの3年間をかけて学習を進めていきます。履修の流れは以下のとおりです。

- ① 1年次の秋セメスターに開かれる演習説明会に出席。
- ② 各演習の研究内容（担当教員によって研究内容が異なります）配布。
- ③ 希望の研究内容の「演習（ゼミナール）」に応募。
- ④ 「演習（ゼミナール）」の選考を受験。
- ⑤ 選考結果発表。合格者は確定。
- ⑥ 選考にもれた場合は、二次・三次募集に応募・選考。
- ⑦ 許可にならなかった場合にも二次・三次の選考が受けられます。
- ⑧ 2年次から「演習Ⅰ（4単位）」を履修。

なお、3年次からは「演習Ⅱ（4単位）」、そして4年次には「演習Ⅲ（4単位）」と、原則として同一の研究内容（担当教員）で継続して履修することになります。

また、この科目は通年科目です。「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」について、それぞれ履修年度ごとに4単位を取得できます。

6 商学部卒業講座Ⅰ（学友会講座）・商学部卒業講座Ⅱ（学友会講座）

「商学部入門講座」と対をなす科目として、4年次の履修科目「商学部卒業講座Ⅰ（学友会講座）」「商学部卒業講座Ⅱ（学友会講座）」を設置しています。4年間学んだことがどのように機能しているかを、OB/OGを大学に招き講座内で講演していただくことによって学ぶものです。実践教育を重視する本学教育理念の集大成をはかる授業です。

なお、「商学部卒業講座（学友会講座）」はコース選択必修科目を履修し不合格だった場合にこの講座を修得していれば、各1単位分を振り替えることができます。また、コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たした場合にはこの講座の単位は、商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

7 資格取得講座

アクティブセンターで開講されている講座を受講することで資格取得を目指し、さらに**商学系列の共通選択科目の単位**を取得することが可能です。以下のような科目の単位が認定されます。「**資格取得講座Ⅰ**」「**資格取得講座Ⅱ**」に該当する講座は、各年度のシラバスで確認してください。単位認定基準は講座ごとに異なります。履修方法などの詳細は教務ガイダンスでお知らせします。

- 資格取得講座（日商簿記2級）（4単位）
- 資格取得講座（日商簿記3級）（4単位）
- 資格取得講座（カラーコーディネーター3級）（2単位）
- 資格取得講座（行政書士）（4単位）
- 資格取得講座（宅建主任者）（4単位）
- 資格取得講座（実践・資産設計AFPⅠ）（2単位）
- 資格取得講座（実践・資産設計AFPⅡ）（2単位）
- 資格取得講座（秘書技能検定2級）（2単位）
- 資格取得講座（MOS Word）（2単位）
- 資格取得講座（MOS Excel）（2単位）
- 資格取得講座Ⅰ（2単位）
- 資格取得講座Ⅱ（2単位）

8 アクティブセンターの講座（総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱ）

本学では通常のカリキュラムの他に、**一般社会人を対象とした公開講座**を開講しています。このアクティブセンターの開講講座は、**学生も受講することができます。**

受講の方法・講座の内容・開講時期などの詳細は、ホームページ（大学ホームページから見るができます）で確認してください。

[1] センターコース

次の講座は、“総合講座「アクティブセンター」Ⅰ（2単位）・Ⅱ（2単位）”の科目の単位として振り替えることができ、**卒業所要単位とすることができます。**

アクティブセンター講座名	総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱへの振替単位数
経済の動向と家庭	前期をⅠに2単位、後期をⅡに2単位
実践・資産設計AFP講座	前期をⅠに2単位、後期をⅡに2単位
ボランティア・アクティビティ	前期をⅠに2単位、後期をⅡに2単位

講座の開講時間は4月に配布される時間割に記載されます。

[2] アドバンストコース（各種検定試験対策講座）

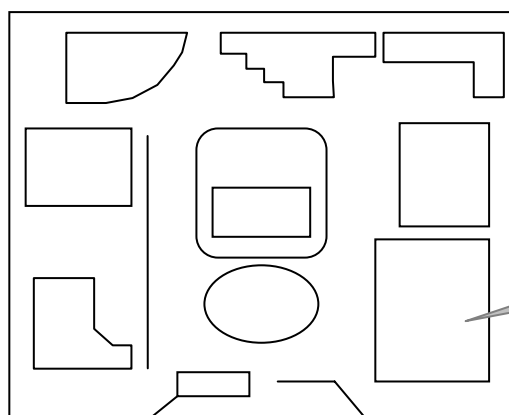
各種検定試験対策講座が**一般社会人の1/2の受講料**で受講できます。国家試験合格者には受講料返還制度があります。詳細はアクティブセンターまで。

単位取得可能な講座もあります。詳細はP11「**7**資格取得講座座」を参照してください。

<講座の種類>

証券外務員二種・宅地建物取引主任者・行政書士・TOEIC対策講座—目標470点—・TOEIC対策講座—目標600点—・医療事務講座・調剤事務講座・ECO検定講座

[3] アクティブセンターの場所と問い合わせ先



アクティブセンター
中央学院100周年大学記念館5階
TEL: 04-7183-6529
[Http://www.cgu.ac.jp/active/](http://www.cgu.ac.jp/active/)

9 単位の振り替えについて

[1] 商学系列選択科目への単位の振り替え

以下の単位を最大24単位まで商学系列選択科目の単位として振り替えることができます。

商学系列選択科目へ振り替えできる単位

No.	項目	振り替えの上限単位数	
①	法学部設置科目（4科目まで）	16単位まで	合計 24単位 まで
②	人文・自然系列科目の余剰単位		
③	千葉県単位互換協定に基づく 他大学（放送大学を含む）での修得単位		
④	英語特別講座1～4 （4単位全て修得していること）	4単位	
⑤	英語上級講座1～4 （4単位全て修得していること）	4単位	
⑥	外国語科目の選択科目のうち、第二外国語 （同一言語で4単位修得していること）	4単位	
⑦	体育科目の選択科目（4単位全て修得していること）	4単位	
⑧	教職科目のうち指定科目	12単位まで	

①法学部設置科目

法学部設置の下記の科目のうち、16単位（4科目）を上限に履修することができます。

法学部科目は全て「通年科目」であり、1年間履修しなければ単位は取得できません。

開講される科目及び担当教員は毎年4月に配付される『講義時間割』及び『講義要項（シラバス）』に掲載されますので、確認して履修登録してください。

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
憲法Ⅰ（人権）	4	1～4年	公務員制度論	4	3・4年
企業取引法	4	1～4年	外国法（アジア法）	4	3・4年
企業法概論	4	1・2年	行政学	4	3・4年
憲法Ⅱ（統治）	4	2～4年	刑事政策	4	3・4年
会社法	4	2～4年	日本法制史	4	3・4年
刑法総論	4	2年	法哲学	4	3・4年
債権法各論	4	3年	有価証券法	4	3・4年
スポーツ文化論	4	3年	民事訴訟法	4	3・4年
スポーツ・リスクマネジメント論	4	3年	刑事訴訟法※	4	3・4年
地方自治論	4	3・4年	金融商品取引法	4	3・4年

※刑事訴訟法を履修するためには、憲法Ⅰ（人権）及び刑法総論の単位を修得していること

②人文・自然系列科目の余剰単位

卒業所要単位を超過して修得した単位数をさします。

③千葉県単位互換協定に基づく他大学（放送大学を含む）での修得単位

千葉県内の単位互換協定締結校で単位を修得することができます。主に3月下旬に、各大学より送付される募集要項は、教務課で閲覧することができます。最大履修単位数の範囲であれば、卒業までに30単位を上限に履修登録できます。

詳細については、教務課に問い合わせてください。

④科目についてはP 8 「[3] 外国語系列科目」を参照してください。

⑤科目についてはP 8 「[3] 外国語系列科目」を参照してください。

⑥科目についてはP 8 「[3] 外国語系列科目」を参照してください。

⑦科目についてはP 8 「[4] 体育科目」を参照してください。

⑧教職科目のうち指定科目

◆「教職科目」のうち、下記の科目12単位を限度として商学系列選択科目へ振り替えの対象とします。

◆下記の科目は全て2単位です。

科目名	単位	配当年次	科目名	単位	配当年次
日本史概説Ⅰ	2	1年	日本史概説Ⅱ	2	1年
外国史概説Ⅰ	2	1年	外国史概説Ⅱ	2	1年
日本史特論Ⅰ	2	1年	日本史特論Ⅱ	2	1年
人文地理学概論	2	1年	地誌学概説	2	1年
自然地理学概論Ⅰ	2	1年	自然地理学概論Ⅱ	2	1年

[2] コース選択必修科目の余剰単位

コース選択必修科目を、各セメスターの修得単位数要件を満たし16単位以上修得した場合、その余剰単位は商学系列選択科目に振り替えます。

[3] 商学部入門講座・商学部卒業講座Ⅰ・商学部卒業講座Ⅱ

コース選択必修科目を履修し不合格だった場合にこれらの講座を修得していれば、各1単位分を振り替えることができます。また、コース選択必修科目の各セメスターの要件を満たした場合にはこの講座の単位は、商学系列科目の選択科目に振り替えることができます。

科目についてはP 10 「[3]商学部入門講座」・「[6]商学部卒業講座Ⅰ（学友会講座）・商学部卒業講座Ⅱ（学友会講座）」を参照してください。

[4] アクティブセンターの講座

アクティブセンターで開講している講座を、人文・自然系列選択科目の科目“総合講座「アクティブセンター」Ⅰ・Ⅱ”に振り替えることができます。

科目についてはP 12 「[8]アクティブセンターの講座」を参照してください。

3.科目の履修方法

1 履修登録とは

多くの科目は自由に選択することができます。それゆえに、自分で履修する科目の時間割を最初に決めなければなりません。

そして、履修科目を決めた後、科目の担当教員に履修の意思を伝える必要があります。本学の場合、決めた履修科目を登録することにより、各担当教員に名簿を配布します。この「履修科目を登録する」という重要な作業を「履修登録」といいます。履修登録をしなければ、単位は修得することができません。

①履修登録の実施時期

履修登録は、各セメスターの始めに実施します。指定された日程に登録をしなければ、授業を受けることができません。日程は毎年度発行される『講義要項（シラバス）』に記載の「学年暦」に掲載されます。また、時間・場所などの詳細は、ガイダンスや教務課掲示板でお知らせします。

②履修登録の条件

履修登録にはいくつかの条件があります。条件を満たさない登録はできません。

◆配当年次

配当年次に達していない場合は履修登録することができません。

◆クラス指定・時間割指定

- ・各年度の初めに配布される『講義時間割』の中から科目を履修します。
- ・同じ時限に複数の科目を履修することはできません。
- ・『講義時間割』に「クラス」「留学生」「教職」などの記載がある科目は該当する学生のみが履修できる科目です。

◆最大履修単位数

履修可能な単位数には、セメスターごとに上限があります。

学 年 \ セメスター	春セメスター	秋セメスター
1 年次	25 単位	26 単位 + 再 4 単位
2 年次	20 単位 + 再 8 単位	20 単位 + 再 8 単位
3 年次	20 単位 + 再 8 単位	20 単位 + 再 8 単位
4 年次	20 単位 + 再 8 単位	20 単位 + 再 8 単位

※再は必修科目の再履修を指します。（コース選択必修科目は再の単位数には含みません。）

※通年科目の単位数は、最大履修単位数の計算上、各セメスターで半分ずつカウントします。

※セメスター科目の集中授業は、実施時期のセメスター単位にカウントします。

※商学部入門講座・商学部卒業講座Ⅰ・商学部卒業講座Ⅱの単位数は、秋セメスター単位にカウントします。

■授業科目ごとの条件

授業科目によって他科目の履修などを条件としている科目があります。『講義要項（シラバス）』にそれぞれ記載されますので、履修登録しようとする科目については必ず参照してください。

2 履修科目の選び方

卒業までに計画的な履修をすすめるためには、卒業所要単位をよく確認しながら履修する授業科目を選定する必要があります。選定方法は条件を満たせば自由ですが、必要条件を満たすための方法をここに紹介します。(❗は新入生向けのガイドです)

①履修登録用紙を確認する。

各セメスターの初めに、「履修届」が配布されます。この用紙に、これから履修科目を記載し、登録をすることになりますので、折り曲げたり汚したりしないように気をつけましょう。

「履修届」には、春セメスター・秋セメスター両方の時間割欄があります。履修科目は、該当のセメスターのみに鉛筆で記載します。

また、「履修届」には、既に必修科目（体育科目を除く）が記載されています。これは、クラス指定などで既に曜日・時限が決定している科目です。よって、この時限に他の科目を履修登録することはできません。

②単位数を確認する

各セメスターのP15「◆最大履修単位数」を確認し、既に「履修届」に印字されている科目の単位数を差し引くと、あと何単位履修登録できるのかが確認できます。

③『講義時間割』を確認する

「履修届」の記載の空いている時限にある必修科目を『講義時間割』で確認します。

『講義時間割』には、春・秋セメスター両方が曜日時限ごとに記載されており、最後には集中講義科目が記載されています。配当年次やクラス指定なども記載されていますので、自分が該当するかどうか確認しましょう。

なお、“再”と記載がある科目は、その科目の再履修者専用です。

④『講義要項（シラバス）』（以下「シラバス」と記載します）を確認する

③で確認した科目名は、同じ科目名でも、それぞれ担当教員が異なる場合があります。また、科目によっては、履修条件などが指定されている場合があります。③で科目を複数確認した後、『シラバス』を見てください。同じ科目でも、担当教員によって内容が異なっていることがわかります。

また、『シラバス』には授業内容のほかに評価方法や、テキストなども記載されています。履修にあたっては必ず参照してください。

⑤選択科目を確定

必修科目・再履修科目を確定した後は、残りの時限に履修登録する選択科目を決めていきます。選択科目の選定方法にはいくつかあります。

(A) 『履修届』の空いている時限の科目の内容を『シラバス』で確認して決める。

(B) 『シラバス』で興味のある内容の科目を『講義時間割』で確認して決める。

(C) P18～21 「4 コース別履修モデル表」を参照して決める。

この場合、留意しなければならないのは、卒業所要単位数です。修得単位が126単位をこえていても、必修科目が未修得であったり、系列ごとの卒業所要単位数を満たしていなかったりすると、卒業することはできません。特に3・4年次の履修登録の際には注意してください。自分の修得科目を、巻末折り込みの表「科目及び卒業所要単位数」につけていくことをお勧めします。

3 履修登録方法

履修する授業を決めたら、以下のように進めてください。

①授業に出席する。

履修科目は授業開始日までに決め、授業開始日からその授業に出席します。教室は『講義時間割』に記載されています。また、教室変更がある場合は、随時教務課掲示板に掲載しますので、毎日掲示板を確認しましょう。なお、最初の授業で人数制限や抽選をするものもあります。詳細はガイダンスや掲示などでお知らせします。

②履修科目を「履修届」に記入する。

「履修届」には、そのセメスター該当欄に、確定した科目名・担当教員名・コードを『講義時間割』で確認し、鉛筆で記入します。

※コードと教室は同じ3桁です。間違いのないように注意してください。

※コードは主に「3□□」が春セメスター科目、「4□□」が秋セメスター科目、「0□□」が通年科目等となっています。

※集中講義も漏らさず記入してください。通年科目の集中講義は春セメスターに、セメスター科目の集中講義は、実施するセメスターにそれぞれ登録してください。

③「履修届」は、必ず**本人**が指定された日時に提出する。

「履修届」の提出日時は学部・学年ごとに指定されます。教務課掲示板等で日時と履修登録会場をお知らせします。

記入した「履修届」を、指定の日時に履修登録会場へ持参し、その場で履修登録をします。登録できない科目を記載した場合には、再度履修届を記入し、登録をやり直してください。

また、**必修科目の再履修**（コース選択必修科目は含まない）を履修する場合、履修登録には1科目につき1,500円（**再履修料**）がかかります。履修登録会場で納入してください。

以上で履修登録は完了です。

◆履修登録をした科目の変更はできません。

◆履修登録に関する疑問点は事前に教務課に相談してください。

4 履修取消について

教務課で手続きをすれば、履修登録した科目の取消が出来ます。前期及び通年科目は5月、後期科目は10月に取り消しの手続きを受け付けます。但し、必修科目と演習は取り消しができません。詳しい日時等については、教務課掲示板で確認してください。尚、取り消した場合でも代替りの科目を追加することは出来ません。

5 コース別履修モデル表

コース別の履修推奨科目です。履修を選択する際の参考にしてください。

商学総合コース履修モデル表

商学系列科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	商学総論(2)	流通戦略システム論(2)	民法総則(2)	物権法(2)	演習Ⅰ(4)	演習Ⅱ(4)	演習Ⅲ(4)	
		広告論(2)	広告政策論(2)	株式会社と証券市場(2)	経済と株価(2)	市場論(2)	市場戦略論(2)	
		近代金融論(2)	現代金融論(2)	経済原論(近代経済学)Ⅰ(2)	経済原論(近代経済学)Ⅱ(2)	債権法総論(2)	債権法各論(2)	
		商法総則・会社法総論(2)	会社法各論(2)	物流論(2)	物流産業論(2)			
				会計学入門(2)	会計制度論(2)	国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)	

(注1)「演習Ⅰ」は通年科目

経営コース履修モデル表

商学系列科目	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
	商業数学(2)	数理計画法(2)	マーケティング論(2)	マーケティング戦略論(2)	商業総則・会社法総論(2)	会社法各論(2)	シミュレーション(2)	経営科学(2)
民法総則(2)	物権法(2)			演習Ⅰ(4)	演習Ⅱ(4)	演習Ⅲ(4)		
		産業心理学(2)	人事教育心理学(2)	外国書講読1(2)	外国書講読2(2)	外国書講読3(2)	外国書講読4(2)	
				労務管理(2)	人事管理(2)			
				国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)	財務諸表分析(2)	企業評価論(2)	

(注1)「演習Ⅰ」は通年科目

国際ビジネスコース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学総論(2) 初級簿記 I (2)	流通システム論(2) 初級簿記 II (2)		国際ビジネス環境論(事前研修)(2) 国際流通論(2) 国際流通システム論(2)		国際ビジネス環境論(実地研修)(2)		マーケティング論(2) マーケティング戦略論(2)	
商学系列科目	演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)		演習 III (4)	
	外国書講読1(2)		外国書講読1(2)		外国書講読2(2)		外国書講読3(2)	
	近代金融論(2)		近代金融論(2)		現代金融論(2)		民法総則(2)	
	商法総則・会社法総論(2)		商法総則・会社法総論(2)		会社法各論(2)		経済原論(近代経済学) I (2) 経済原論(近代経済学) II (2)	
	経営学総論 I (2)		経営学総論 I (2)		経営学総論 II (2)		外国為替(2)	
会計制度論(2)		会計制度論(2)		国際通貨(2)		経営管理基礎論(2)		
						経営管理応用理論(2)		
						国際経済論(世界経済の歴史)(2)		
						国際経済論(世界経済の理論)(2)		

(注1) 「演習」は通年科目

会計コース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
初級簿記 I (2) 商学総論(2)	初級簿記 II (2) 流通システム論(2)		◎原価計算論 I (2) ◎原価計算論 II (2)		◎会計情報論(2) ◎会計情報システム論(2)		◎税法 I (2) ◎税法 II (2)	
演習 I (4)		演習 II (4)		演習 III (4)		演習 III (4)		
商法総則・会社法総論(2)		会社法各論(2)		手形・小切手法総論(2)		民法総則(2)		
債権法総論(2)		債権法各論(2)		商業数学(2)		統計学(2)		
				外国書講読1(2)		外国書講読3(2)		
				◎財務諸表分析(2)		◎監査制度論(2)		
				経営学総論 I (2)		◎監査報告論(2)		
				経営学総論 II (2)				

(注1) 「演習」は通年科目

(注2) ◎は会計コースとして特に履修を推奨する科目

経済コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
民法総則(2) 物権法(2)							
日本古代・中世経済史(2) 日本近世・近・現代経済史(2) 初級簿記Ⅰ(2) 初級簿記Ⅱ(2) 商業数学(2) 数理計画法(2)							
演習Ⅰ(4)		演習Ⅱ(4)		演習Ⅲ(4)			
商法総則・会社法総論(2)		会社法各論(2)		外国書講読1(2)		外国書講読3(2)	
商学総論(2)		流通システム論(2)		入門国民所得論(2)		経済地理の諸問題(2)	
入門計量経済学(2)		応用計量経済学(2)		株式会社と証券市場(2)		消費経済学(家計と企業)(2)	
市場論(2)		市場戦略論(2)		近代金融論(2)		物流産業論(2)	
統計学(2)		応用統計学(2)		社会政策Ⅰ(2)		経済法Ⅰ(2)	
債権法総論(2)		債権法各論(2)		労働法の基礎(2)		近代日本経済論(2)	
開発経済学(2)		開発政策論(2)					
				国際貿易理論(2)		福祉国家の歴史的背景(2)	
				国際通貨(2)		手形・小切手法総論(2)	
				近代中小企業論(2)		現代日本経済論(2)	

商学系列科目

(注1)「演習」は通年科目

情報コース履修モデル表

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
情報科学概論(2)							
マルチメディア論(2)		商業数学(2)		数理計画法(2)			
経営数学(2)		初級簿記Ⅰ(2)		初級簿記Ⅱ(2)			
演習Ⅰ(4)		演習Ⅱ(4)		演習Ⅲ(4)			
統計学(2)		応用統計学(2)		ソフトウェア論			
				経営学総論Ⅰ(2)		会計学入門(2)	
				情報環境論(2)		メティアデザイン(2)	
						マーケティングシステム論(2)	
						マーケティング情報論(2)	

商学系列科目

(注1)「演習」は通年科目

(注2)「プログラミングⅠ(C)・プログラミングⅡ(シエルプロ)」を履修する学生は、前年次に「情報科学概論・マルチメディア論」を修得すること

(注3)「プログラミングⅠ(Java)・プログラミングⅡ(Java)」を履修する学生は、「ソフトウェア論・アプリケーション論」も履修すること

スポーツキャリアアコース履修モデル表

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
商学系列科目	商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2)	広告論(2) マーケティング論(2)	広告政策論(2) マーケティング戦略論(2)	産業心理学(2) 社会政策Ⅰ(2)	人事教育心理学(2) 社会政策Ⅱ(2)	市場論(2)	市場戦略論(2)
法学部開講科目					会計学入門(2)	会計制度論(2)	国際ビジネス論(2)	多国籍企業論(2)
							経営学総論Ⅰ(2) 流通戦略論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2) 流通戦略論Ⅱ(2)
					*スポーツ文化論(4)			
							*スポーツ・リスクマネジメント論(4)	

(注1)「スポーツ文化論」「スポーツ・リスクマネジメント論」は通年科目

(注2) *は法学部開講科目

4. 試験・成績評価

1 評価の方法

各セメスター終了時に、**成績評価**を行います。
成績評価の方法には以下のような形態があります。

- (1) 定期試験
- (2) レポート作成
- (3) 出席・小テストなど

定期試験については、**担当教員の指示**により受験してください。
なお、**定期試験の時間割**は、定期試験開始の1週間前に**教務課掲示板**へ掲示します。

2 定期試験の受験資格

定期試験を受験するには、原則として以下の条件が必要です。

- ① **履修登録**していること。
- ② 授業の**3分の2以上出席**していること。
(病気、忌引等止むを得ない理由で授業を欠席した場合は、学生課に欠席願書を提出すること)
- ③ **授業料を納入**していること。

3 定期試験受験上の注意事項

以下は基本的な注意事項です。科目によって、多少異なる場合もあります。担当教員・監督者の指示に従ってください。

- ① **学生証**を机上に提示すること。
(学生証を忘れた場合、試験期間中1回に限り、教務課で「受験許可証」の発行可)
- ② **15分以上遅刻**すると受験できません。また、**20分以上経過**しないと退室できません。退室の場合は必ず答案用紙を提出すること。
※試験期間中の自動車・バイク通学による遅刻の救済措置はありません。
- ③ テキストやノート等、**持込参照物は担当教員の指示に従ってください。**
- ④ **不正行為**、または**不正と思われる紛らわしい行為**に対しては厳しく処分します。
(キャンパスガイド「学内関係規程・内規等」のうち「**試験不正行為取締懲戒規程**」参照)
- ⑤ 携帯電話等の電源は必ず切っておいてください。(時計としての使用不可)

4 成績評価

各科目の評価基準は以下のとおりです。

[秀]	90点以上
[優]	89点～80点
[良]	79点～70点
[可]	69点～60点
[不可]	59点以下(単位認定されません)

※成績表は各セメスター終了後に配布します。

5 追試験について

病気その他、止むを得ない理由により定期試験を受けられなかったと認められる場合を対象に、各セメスター末に**1回のみ**追試験を行います。

なお、受験には**所定の手続き**が必要になります。追試験開始1週間前から**教務課掲示板**に掲示されますので、その指示に従ってください。追試験の手続きに必要なものは以下のとおりです。

- ①**追試験受験願**（申込会場でお渡しします）
 - ②定期試験を受験できなかった理由となる**証明書類**
 - ◆傷病・・・医師の診断書又は病院の領収証等
 - (例) ◆交通障害・・・遅延証明書・事故証明書等
 - ◆忌引・・・会葬礼状等
 - ◆就職試験（面接を含む）・・・受験先企業が受験の事実を証明した書類

<就職試験（面接）前に教務課で専用用紙を受け取ること>
 - ③**追試験受験料**は1科目2,000円
- また、追試験受験の際は、**学生証**と申込時の**領収証兼受験許可書**が必要となります。

6 再試験について

1～3年次においては、必修科目及びコース別選択必修科目が**不合格となった場合、1回のみ**再試験を受けることができます。

また、4年次においては、**不合格となった全科目**に対して**1回のみ**再試験を受けることができます。ただし、「**教職科目**」については再試験を行いません。

なお、受験には**所定の手続き**が必要になります。試験開始1週間前から**教務課掲示板**に掲示されますので、その指示に従ってください。再試験の条件等は以下のとおりです。

- ①当該セメスターで**不合格となった科目**の受験ができます。
(ただし、出席不足などで再試験停止となった科目は申し込みできません)
- ②**再試験受験料**は1科目2,000円です。
- ③受験の際は、**学生証**と申込時の**領収証兼受験許可書**が必要となります。
- ④評価は「**可**」又は「**不可**」のいずれかとなり、「**優**」・「**良**」はつきません。

7 単位取得不良者に対する注意

各学年の修得単位数によっては文書による**成績不良注意**又は**成績不良注意勧告**が行なわれます。いずれも、以下のとおりの基準となります。

1年次終了時の修得単位数が20単位に達しない場合	成績不良注意
2年次終了時の修得単位数が46単位に達しない場合	成績不良注意勧告

8 GPA (Grade Point Average) について

GPAとは、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のことをいいます。学力を測る一つの指標となります。教職科目を除く、100点を満点として成績評価される科目（認定以外の科目）が対象となります。算出は下記の式で計算します。

$$GPA = \frac{[GP \times 1 \times \text{単位数}] + [GP \times \text{単位数}] + [GP \times \text{単位数}] \cdots}{\text{単位数の合計}} \times 2$$

※1 GP (秀=4.0、優=3.0、良=2.0、可=1.0、不可=0)

※2 成績が付いた総ての履修科目

5.卒業

1 卒業

以下の条件を満たすと、卒業できます

- ① 4年以上8年以内の**在学期間**（休学期間を除く）であること。
- ② 必修科目を全て修得し、各コース選択必修科目を所定の単位修得し、また、各系列の**要件を満たして単位を修得**していること。
- ③ **卒業所要単位数**126単位以上を修得していること。

なお、**卒業時期**は、各セメスターの終了する**9月と3月**です。

6.コース変更・転学部

1 コース変更

商学部では、2年次より希望のコースに分かれて学習しますが、**コースの変更を1回のみ**許可します。変更の方法・時期は以下のとおりです。

- ① 2年次の秋 Semester 開始日から2年次の11月末までに**教務課**に申し出てください。
- ② 教務課に申し出た際に申請用紙を貰い、速やかに希望する**コース主任の面接**を受け、許可印を得てください。
- ③ 許可印のある申請用紙を、教務課に**2年次の秋 Semester 試験終了日まで**に提出してください。

2 転学部

商学部では、**法学部に転学部**を希望する者に対し、以下の基準を設けて許可しています。

- ① **在学期間中1回**に限ります。
- ② 転学部の学年は原則として**2年次**とする。(申請は1年次末)ただし、特別の事情がある場合に限り、3年次の転学部を認めます。
- ③ 2年次に転学部を志望する場合、出席が良好で1年次修了時に30単位以上修得している。
(3年次の場合は、出席が良好で2年次終了時に70単位以上修得している。)
- ④ 転学部の申請手続きは、原則該当年次の2月初旬です。詳細は事前に教務課にお問い合わせ下さい。
- ⑤ 転学部の審査は**書類審査**と**面接審査**です。
- ⑥ 転学部の審査結果は**3月中に通知**します。
- ⑦ 転学部の許可通知後、**定められた期間内に所定の手続き**が行われない場合は、辞退となります。

7. 教職課程

本学では、所定の単位を修得することによって、中学校および高等学校の教員になるための各種の教育職員免許状（以下免許状と記載します）を取得することができます。日々生徒に接し、彼らを伸ばし育てていく教職は、たいへんにやりがいのある仕事です。

ただし、免許状を取得するには、大学卒業のための単位以外に多数の科目を修得することが必要で、中途半端な勉学では取得できません。卒業に向けての勉強に励むとともに、教職課程の諸科目についても1年次から明確な目的意識をもって計画的に履修することが必要です。以下の説明をよく読み、ガイダンスを受けて履修の申請をしてください。

コラム：中央学院大学のルーツと教職課程の現在

<建学の精神と教職課程の歴史>

本学のルーツは、明治33（1900）年設立の「日本橋簡易夜学校」、明治35年（1902）創立の「中央商業学校」まで、さかのぼることができる。イギリスで研鑽を積んだ仏教学者高楠順次郎によって実学重視の仏教系の学校として創立された。

高楠順次郎は、イギリス留学中に、紳士的で社会的地位も高いイギリス商人を目の当たりにして感銘を受けた。帰国後、日本においても、教養と倫理観を身に着けた商人の育成を行うことが急務であると考え、勤労青年を対象とする夜間学校を創立した。その後、幾多の変遷を経て、昭和41（1966）年に中央学院大学が創立された。

大学開学2年後、昭和43（1968）年、本学に教職課程が開設された。師範学校中心の太平洋戦争前の教員養成制度とは異なり、戦後は、教員養成が一般大学でも可能になったことの意義は大きい。本学でも、教職課程を開設することが可能になり、それによって、学校制度によって、勤労青年を教育しようとした創立者の精神を新たな形で具現化することができたと考えられる。実学重視の精神と戦前から商業教育を行ってきた伝統もあり、まずは、職業科教育（中学校一級普通免許状）、商業科教育（高等学校二級普通免許状）の免許の教職課程を申請し認定された。

その後、「中学校社会」、「高等学校社会」の教職課程を昭和47（1972）年に開設することができた。大学独自の建学の精神として「公正な倫理観」をかかげるようになった本学としては、将来、市民として生きる生徒たちに社会とその営みについて教えることを目的とする教科の教職課程を開設することは当然であった。

ところで、平成元（1989）年の教育職員免許法の改正により、「高等学校社会」は、「高等学校公民」と「高等学校地理歴史」という2つの免許教科に分割された。本学では、どちらの教科も社会人を育成するための重要な教科であるという認識から、商学・法両学部で、「高等学校公民」と「高等学校地理歴史」の教員免許取得可能であるように課程を開設している。

さらに平成12（2000）年、社会全体の情報化の波のなかで、教員免許法が改正され、新たに「高等学校情報」が免許教科として創設された。現代にふさわしい実学指導を行う教科として、本学では、さっそく「高校情報」のための教職課程を開設した。

1 取得できる免許状の種類と免許教科

商学部では、以下の教科のいずれかまたは複数の教科の免許状を取得することができます。

《表1》取得できる免許状の種類と免許教科

免許の種類	教科
中学校教諭一種免許状	社会
高等学校教諭一種免許状	地理歴史
	公民
	商業
	情報

2 免許状を取得するための条件

免許状を取得するには、以下の4つの条件をすべて満たす必要があります。

《図1》免許状取得の条件（概要）

1 基礎資格（「学士」の学位）をとる

「学士」は4年制大学を卒業することによって得られる学位です。

+

2 「教職に関する科目」の必要単位を修得する

教員となるための基本的な資質や実践力を身につけます。

⇒表2

+

3 「教科に関する科目」の必要単位を修得する

教える教科について専門的に学びます。

⇒表2

+

4 その他の定められた科目等を修得・修了する

- ① 日本国憲法2単位を修得します。
- ② 体育2単位を修得します。
- ③ 外国語コミュニケーション科目を修得します。
- ④ 情報機器の操作に関する科目を修得します。
- ⑤ 介護等体験を行います。（中学校免許状を希望する場合のみ）

⇒表3

図1の概要をより詳しく説明すると、次のとおりとなります。(表2)(表3)

《表2》「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」

	必要単位数		備考
教職に関する科目	中学校 33単位以上 高校 25単位以上	合計 59単 位 以上	⑥の教職課程科目表に従って履修し、 必修科目および選択必修科目を含め合計 59単位以上修得すること。 (情報は61単位以上修得すること。)
教科に関する科目	20単位以上(情報以外) 36単位以上(情報)		

《表3》その他の定められた科目等

日本国憲法	「憲法(2単位)」 (人文・自然系選択科目)の修得	
体育	「健康スポーツ実技Ⅰ」・ 「健康スポーツ実技Ⅱ」 (各1単位)の修得	1年次必修科目
外国語コミュニケーション	「英会話」・ 「英語リスニング・スピーキング(LL)」 (各1単位)の修得	1年次必修科目
情報機器の操作	「情報リテラシー」・ 「情報処理論」 (各2単位)の修得	1年次必修科目
介護等体験	2・3年次に介護等体験を行う	中学校免許状を取得する場合のみ。 詳細については、年度初めのガイダンスで 説明が行われます。

3 履修上の注意

- ①教職課程の履修のしかたは法令改正のため入学年度により異なります。必ず自分の入学年度に対応する科目表に従って履修してください。
- ②「教職概論」は1年次の必修科目です。この科目を修得しないと、教職課程の継続履修は認められません。また、年間の修得単位数が著しく少ない場合にも、教職課程の継続履修を認められない場合があります。
- ③「教職に関する科目」の全科目及び「教科に関する科目」の一部の科目は、卒業所要単位には含まれません。(科目表参照)
ただし、中学社会科および高校地理歴史科の「教科に関する科目」のうち、以下の科目については、最高12単位まで卒業所要単位に含むことができます。詳しくはP13「⑨単位の振り替えについて」を参照してください。

日本史概説Ⅰ (2単位)	日本史概説Ⅱ (2単位)
外国史概説Ⅰ (2単位)	外国史概説Ⅱ (2単位)
日本史特論Ⅰ (2単位)	日本史特論Ⅱ (2単位)
人文地理学概論 (2単位)	地誌学概説 (2単位)
自然地理学概論Ⅰ (2単位)	自然地理学概論Ⅱ (2単位)

- ④教職課程履修者は、2年次以降「教職課程受講料」として年次ごとに5,000円を納入しなければなりません。
- ⑤教職課程の連絡事項はすべて教務課掲示板でお知らせします。重要な連絡事項が多いので、毎日必ず確認してください。

4 教育実習生の要件

教育実習を行うには、原則として次の①～③の要件を全て満たさなければなりません。

① 4年次であること。

② 教職に関する3年次までに配当された必修科目を以下のとおり修得済みであること。

中学校……………25単位

高等学校……………21単位

③ 実習教科については以下の要件を満たしていること。

中学校……………教科に関する科目を28単位以上修得済み

高等学校……………教科に関する科目を32単位以上修得済み

ただし、

(i) 商業科に関しては以下の科目を修得済みであること。

○「職業指導Ⅰ・Ⅱ」

○「商学総論」及び「流通システム論」

○「中級簿記Ⅰ・Ⅱ」又は「上級簿記Ⅰ・Ⅱ」

○「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」

○「商業政策総論」及び「流通政策論」

又は「プログラミングⅠ(COBOL)」及び「プログラミングⅡ(COBOL 応用)」

(ii) 情報科に関しては以下の科目を修得済みであること。

○「Web データベース」

○「ネットワーク論」

○「マルチメディア論」

○「プログラミングⅠ(C)」及び「プログラミングⅡ(シェルプロ)」

又は「プログラミングⅠ(J a v a)」及び「プログラミングⅡ(J a v a)」

2・3年次の終わりには、必要な単位を修得しているか、各自、チェックしましょう。

また、教職適性についても、考えてみてください。

5 教職課程年間スケジュール

		1年次	2年次	3年次	4年次
春 セ メ ス タ ー	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程履修ガイダンス（プライムセミナー） ・教職課程履修希望票提出（「教職概論」第1回授業） ・教職科目履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程履修ガイダンス ・履修個人票の提出 ・介護等体験ガイダンス ・介護等体験申込（社会福祉施設） ・教職科目履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程履修ガイダンス ・介護等体験ガイダンス ・介護等体験報告 ・介護等体験申込（特別支援学校） ・教職科目履修登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程履修ガイダンス ・教職科目履修登録
	5月		教育実習予定校に打診 《介護等体験》 ・社会福祉施設5日間（5月～翌年2月）	《教育実習校決定の手続》 実習を希望する学校の 内諾をとる ↓ 「教育実習依頼申込書」を教務課に提出 ↓ 「教育実習受入依頼書」を大学から実習校へ送付 ↓ 実習校からの承諾書で教育実習校が決定	教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ 5月～11月 個別事前事後指導
	6月				
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・「教職概論」合否発表 		《介護等体験》 ・特別支援学校2日間（5月～翌年2月）	
10月					
秋 セ メ ス タ ー	11月		（教育実習報告会）	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習Ⅰ（授業見学）（教育実習報告会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習報告会 ・教職実践演習（集中） ・教育職員免許状一括申請説明会
	12月				<ul style="list-style-type: none"> ・免許状申請書類提出（教務課）
	2月			<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習Ⅰ（教育実習事前指導） ・教育実習生適格判定 	
	3月				<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員免許状授与（卒業式当日）

6 教職課程科目表

a 「教職に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」

<各免許教科共通>

	科目区分	科目名 (注1)	配当年次	単位数	備考	修得 チェック欄
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	○教職概論	1	2		
	教育の基礎理論に関する科目	○教育原論	1	2		
		学校教育特論	2～4	2		
		○教育心理学	2・3	2		
		青年心理学	2～4	2		
		○教育制度論	2・3	2		
		教育法規	2～4	2		
	教育課程及び指導法に関する科目	道德教育	2～4	2	(注3)	
		○特別活動	3	2		
		○教育方法(情報処理を含む)	2・3	2		
		社会科・地理歴史科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		社会科・公民科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		社会科・公民科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		商業科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		商業科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
		情報科教育法Ⅰ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)	
	情報科教育法Ⅱ(教育課程論を含む)	3	2	(注2)		
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	○生徒指導及び進路指導	3	2		
		○生徒指導及び教育相談	3	2		
教育実習		○教育実習Ⅰ	3	1		
	教育実習Ⅱ	4	2	(注4)		
	○教育実習Ⅲ	4	2			
教職実践演習	○教職実践演習(中・高)	4	2			
教科又は教職に関する科目	道德教育	2～4	2	(注3)		
	総合演習	2～4	2			

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) 取得希望の免許状の種類に応じ、下記の各教科教育法を修得すること。

中学校1種免許状(社会) 「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ」、「社会科・地理歴史科教育法Ⅱ」、
「社会科・公民科教育法Ⅰ」及び「社会科・公民科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(地理歴史) 「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ」及び「社会科・地理歴史科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(公民) 「社会科・公民科教育法Ⅰ」及び「社会科・公民科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(商業) 「商業科教育法Ⅰ」及び「商業科教育法Ⅱ」

高等学校1種免許状(情報) 「情報科教育法Ⅰ」及び「情報科教育法Ⅱ」

(注3) 中学校1種免許状を取得する場合、「道德教育」を必修とする。

高等学校1種免許状のみ取得する場合、「道德教育」は選択科目となり、表2の必要単位59単位に含めることができる。

(注4) 中学校1種免許状(社会)を取得する場合、「教育実習Ⅱ」を必修とする。

b 「教科に関する科目」

(1) 中学校教諭一種免許状（社会）

科目区分	科目名（注1）		単位数	備考	修得 チェック欄
日本史及び外国史	○日本史概説Ⅰ	○日本史概説Ⅱ	各2	*	
	○外国史概説Ⅰ	○外国史概説Ⅱ	各2	*	
地理学 (地誌を含む。)	○人文地理学概論		2	*	
	○自然地理学概論Ⅰ	○自然地理学概論Ⅱ	各2	*	
	○地誌学概説		2	*	
法学、政治学	○政治学概論Ⅰ	○政治学概論Ⅱ	各2	*	
	民法総則	物権法	各2		
	労働法の基礎	労働法の応用	各2		
	経済法Ⅰ	経済法Ⅱ	各2		
社会学、経済学	○社会学概論Ⅰ	○社会学概論Ⅱ	各2	*	
	経済原論 (近代経済学)Ⅰ	経済原論 (近代経済学)Ⅱ	各2		
	経済原論 (マルクス経済学)Ⅰ	経済原論 (マルクス経済学)Ⅱ	各2		
	経済学史(経済学の誕生)	経済学史(経済学の発展)	各2		
	入門公共経済学	応用公共経済学	各2		
	近代経済政策	現代経済政策	各2		
	入門国民所得論	応用国民所得論	各2		
	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ	各2		
	入門計量経済学	応用計量経済学	各2		
	消費経済学(家計と企業)	消費経済学(家計と政府)	各2		
	福祉国家の歴史的背景	福祉国家の理論的背景	各2		
	物流論	物流産業論	各2		
	市場論	市場戦略論	各2		
	経済地理の諸問題	経済地理の諸研究	各2		
哲学、倫理学、 宗教学	哲学概論Ⅰ	哲学概論Ⅱ	各2	*(注3)	
	倫理学概論Ⅰ	倫理学概論Ⅱ	各2	*(注3)	

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) *印のある授業科目の単位は、卒業所要単位に含まない。振替については、P. 28及びP. 13参照のこと。

(注3) いずれかのⅠ・Ⅱをそろえて計4単位選択必修。

(2) 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

科目区分	科目名（注1）		単位数	備考	修得 チェック欄
日本史	○日本史概説Ⅰ	○日本史概説Ⅱ	各2	*	
	○日本史特論Ⅰ	○日本史特論Ⅱ	各2	*	
	日本文化史Ⅰ	日本文化史Ⅱ	各2	*	
	日本古代・中世経済史	日本近世・近・現代経済史	各2		
	☆日本法制史		4	(注3)	
外国史	○外国史概説Ⅰ	○外国史概説Ⅱ	各2	*	
	外国文化史Ⅰ	外国文化史Ⅱ	各2	*	
	経済学史（経済学の誕生）	経済学史（経済学の発展）	各2		
	☆政治史（外国政治史）		4	*	
	☆東洋法制史		4	*	
	☆西洋法制史		4	*	
人文地理学 及び 自然地理学	○人文地理学概論		2	*	
	○自然地理学概論Ⅰ	○自然地理学概論Ⅱ	各2	*	
	経済地理の諸問題	経済地理の諸研究	各2		
地誌	○地誌学概説		2	*	

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

☆印の法学部設置科目は、2科目の範囲で履修できる。

(注2) *印のある授業科目の単位は、卒業所要単位に含まない。振替については、P. 28及びP. 13参照のこと。

(注3) 「日本法制史」の卒業所要単位への算入については、P. 13を参照のこと。

(3) 高等学校教諭一種免許状（公民）

科目区分	科目名（注1）		単位数	備考	修得 チェック欄
法律学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）	○政治学概論Ⅰ	○政治学概論Ⅱ	各2	*	
	民法総則	物権法	各2		
	労働法の基礎	労働法の応用	各2		
	経済法Ⅰ	経済法Ⅱ	各2		
	☆国際法Ⅰ（基礎理論）		4	*	
	☆国際関係論		4	*	
	☆国際取引法		4	*	
社会学、経済学 （国際経済を含む。）	○社会学概論Ⅰ	○社会学概論Ⅱ	各2	*	
	経済原論（近代経済学）Ⅰ	経済原論（近代経済学）Ⅱ	各2		
	経済原論 （マルクス経済学）Ⅰ	経済原論 （マルクス経済学）Ⅱ	各2		
	経済地理の諸問題	経済地理の諸研究	各2		
	福祉国家の歴史的背景	福祉国家の理論的背景	各2		
	市場論	市場戦略論	各2		
	入門国民所得論	応用国民所得論	各2		
	社会政策Ⅰ	社会政策Ⅱ	各2		
	入門計量経済学	応用計量経済学	各2		
	入門公共経済学	応用公共経済学	各2		
	近代経済政策	現代経済政策	各2		
	国際貿易理論	国際貿易政策	各2		
	哲学、倫理学、 宗教学、心理学	哲学概論Ⅰ	哲学概論Ⅱ	各2	*（注3）
倫理学概論Ⅰ		倫理学概論Ⅱ	各2	*（注3）	
心理学概論Ⅰ		心理学概論Ⅱ	各2	*（注3）	

（注1）○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

☆印の法学部設置科目は、2科目の範囲で履修できる。

（注2）*印のある授業科目の単位は、卒業所要単位に含まない。振替については、P. 28及びP. 13参照のこと。

（注3）いずれかのⅠ・Ⅱをそろえて8単位選択必修。

(4) 高等学校教諭一種免許状(商業)

科目区分	科目名 (注1)		単位数	備考	修得 チェック欄
職業指導	○職業指導Ⅰ	○職業指導Ⅱ	各2		
商業の 関係科目	○商学総論	○流通システム論	各2		
	初級簿記Ⅰ	初級簿記Ⅱ	各2		
	情報リテラシー	情報処理論	各2		
	○経営学総論Ⅰ	○経営学総論Ⅱ	各2		
	マーケティング論	マーケティング戦略論	各2		
	広告論	広告政策論	各2		
	リスク・マネジメント論Ⅰ	リスク・マネジメント論Ⅱ	各2		
	株式会社と証券市場	経済と株価	各2		
	近代金融論	現代金融論	各2		
	会計学入門	会計制度論	各2		
	商業政策総論	流通政策論	各2	(注2)	
	債権法総論	債権法各論	各2		
	商法総則・会社法総論	会社法各論	各2		
	国際ビジネス論	多国籍企業論	各2		
	商業数学	数計計画法	各2		
	近代商業史	現代商業史	各2		
	経営管理基礎理論	経営管理応用理論	各2		
	企業の財務活動	財務的意思決定	各2		
	労務管理	人事管理	各2		
	国際通貨	外国為替	各2		
	国際ビジネス環境論(事前研修)	国際ビジネス環境論(実地研修)	各2		
	国際ビジネス戦略論(理論編)	国際ビジネス戦略論(実践編)	各2		
	国際マーケティングの基礎理論	国際マーケティング業務	各2		
	ビジネスコミュニケーション論	異文化間コミュニケーション論	各2		
	国際ビジネス実務	国際ビジネス実践	各2		
	中級簿記Ⅰ	中級簿記Ⅱ	各2	(注2)	
	上級簿記Ⅰ	上級簿記Ⅱ	各2	(注2)	
	原価計算論Ⅰ	原価計算論Ⅱ	各2		
	会計情報論	会計情報システム論	各2		
	税法Ⅰ	税法Ⅱ	各2		
	手形・小切手法総論	手形・小切手法各論	各2		
	応用統計学		2		
	財務諸表論	会計原則論	各2		
	財務諸表分析	企業評価論	各2		
	監査制度論	監査報告論	各2		
	管理会計総論	管理会計論	各2		
	所得税税務会計	法人税税務会計	各2		
	開発経済学	開発政策論	各2		
	国際経済論(世界経済の歴史)	国際経済論(世界経済の理論)	各2		
	経営数学		2		
経営科学		2			
プログラミングⅠ(COBOL)	プログラミングⅡ(COBOL 応用)	各2	(注2)		
情報システム論	経営情報論	各2			
マーケティングシステム論	マーケティング情報論	各2			
近代中小企業論	現代中小企業論	各2			
eコマース	コンテンツ開発	各2			

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) いずれか8単位選択必修。

(5) 高等学校教諭一種免許状（情報）

科目区分	科目名（注1）	単位数	*備考	修得 チェック欄
情報社会 及び情報倫理	○情報社会と倫理	2		
コンピュータ及び 情報処理 (実習を含む。)	○コンピュータコミュニケーション	2		
	○コンピュータの構成	2		
	○ソフトウェア論	2		
	○統計学	2		
	○情報数学	2		
	プログラミングⅠ（C）	2	（注2）	
	プログラミングⅡ（シェルプロ）	2	（注2）	
	プログラミングⅠ（Java）	2	（注2）	
	プログラミングⅡ（Java）	2	（注2）	
○情報科学概論	2			
情報システム (実習を含む。)	データベース	2		
	○Web データベース	2		
	○メディアデザイン	2		
	○システム設計論	2		
	○アプリケーション論	2		
情報通信 ネットワーク (実習を含む。)	○ネットワーク論	2		
	○情報環境論	2		
マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む。)	○マルチメディア論	2		
	○シミュレーション	2		
情報と職業	○情報と職業	2		

(注1) ○印のある授業科目の単位は必ず修得すること。

(注2) プログラミングについてはⅠ・Ⅱをそろえて4単位必修。

教職課程履修科目および単位修得の方法（高等学校地理歴史科）

○印は本学教職課程必修科目

科目区分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における 必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する科目 (25 単位 以上)	○教職概論 (2)	○教育原論 (2)	○教育制度論 (2) ○教育心理学 (2)	○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○社会科・地理歴史科教育法 I (2) ○社会科・地理歴史科教育法 II (2)	○教育実習 III (2)	○教職実践演習 (2)		25 単位 必修
	(第1～第6セメスター履修可能科目) ○日本史概説 I (2) ○日本史概説 II (2)	(第1～第6セメスター履修可能科目) ○教育心理学 (2) 青年心理学 (2)	(第3～第6セメスター履修可能科目) ○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2)	(第3～第6セメスター履修可能科目) ○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○社会科・地理歴史科教育法 I (2) ○社会科・地理歴史科教育法 II (2)	○教育実習 III (2)	○教職実践演習 (2)		25 単位 必修
教職に関する科目 (20 単位 以上)	○外国史概説 I (2) ○外国史概説 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	8 単位 必修
	○外国史概説 I (2) ○外国史概説 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	○外国史概説 I (2) 日本文化史 II (2) ○外国史概説 II (2) 日本文化史 II (2)	8 単位 必修
教職又は教職に関する科目 (14 単位 以上)	○地誌学概説 (2)	○地誌学概説 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	2 単位 必修
	○地誌学概説 (2)	○地誌学概説 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	○地誌学概説 (2) 総合演習 (2)	2 単位 必修
教職又は教職に関する科目 (10 単位 以上)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	2 単位 必修
	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	2 単位 必修
教職又は教職に関する科目 (10 単位 以上)	○情報機器の操作	○情報機器の操作	○情報機器の操作	○情報機器の操作	○情報機器の操作	○情報機器の操作	○情報機器の操作	○情報機器の操作	4 単位 必修
	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	○英語リスニング・スピーキング (LL) (1)	2 単位 必修
教職又は教職に関する科目 (10 単位 以上)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	○健康スポーツ実技 I (1)	2 単位 必修
	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 II (1)	2 単位 必修

教職課程履修科目および単位修得の方法 (高等学校商業科)

○印は本学教職課程必修科目 △印は本学教職課程選択必修科目

科目区分 ()内は法命上必要と される単位数	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における 必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する 科目 (25 単位 以上)	○教職概論 (2)	○教育原論 (2)	○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○教育心理学 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○教職実践演習 (2)	
	○特別活動 (2) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)	○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○商業科教育法 I (2) ○商業科教育法 II (2)
職業指導			○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2)	○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2)	○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2)	○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2)	○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2)	○職業指導 I (2) ○職業指導 II (2)	4 単位 必修
教科に関する 科目 (20 単位 以上)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	○商学総論 (2) ○流通システム論 (2)	8 単位 必修
	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)	情報リテラシー (2) 情報処理論 (2) 初級簿記 I (2) 初級簿記 II (2) 商業数学 (2) 数理計画法 (2) 経営数学 (2)
教科又は教 職に関する 科目 (14 単位 以上)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	○憲法 (2)	2 単位 必修
	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)	4 単位 必修
教育免許状 取得に必要な その他の 科目 (10 単位 以上)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L) (1)	2 単位 必修
	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)	2 単位 必修

教職課程履修科目および単位修得の方法（高等学校情報科）

○印は本学教職課程必修科目

科目区分 ()内は法令上必要とされる単位数	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		備考 (本学における必修単位数等)
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
教職に関する科目 (25 単位以上)	○教職概論 (2)	○教育原論 (2)	○教職概論 (2) ○教育心理学 (2) ○教育制度論 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○第3～第6セメスター履修可能科目 ○教育心理学 (2) ○教育制度論 (2) ○教育心理学 (2) ○教育方法 (2)	○第3～第6セメスター履修可能科目 ○特別活動 (2) ○教育実習 I (1) ○生徒指導及び進路指導 (2) ○生徒指導及び教育相談 (2) ○情報科教育法 I (2) ○情報科教育法 II (2)	○教育実習 III (2)	○教職実践演習 (2)		25 単位 必修
	○情報社会と倫理 (2)								2 単位 必修
教科に関する科目 (36 単位以上)	情報社会及び情報倫理	○情報社会と倫理 (2)							2 単位 必修
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	○情報数学 (2) ○情報科学概論 (2)	○第1～第8セメスター履修可能科目	○コンピュータコミュニケーション (2) ○ソフトウェア論 (2) ○統計学 (2) ※プログラミング I (1) (2) ※プログラミング II (シエルプロ) (2) ※プログラミング I (Java) (2) ※プログラミング II (Java) (2)	○コンピュータコミュニケーション (2) ○ソフトウェア論 (2) ○統計学 (2) ○コンピュータコミュニケーション (2) ○ネットワーク (2)	○コンピュータの構成 (2)			16 単位 必修※ 同一言語 I、II を選択 必修
教科又は教職に関する科目	情報システム (実習を含む。)			○アプリケーション論 (2)					8 単位 必修
	情報ネットワーク (実習を含む。)								4 単位 必修
教科又は教職に関する科目	マルチメディア論 (2)								4 単位 必修
	情報と職業			○情報と職業 (2)					2 単位 必修
教員免許状取得に必要なその他の科目 (10 単位以上)	日本国憲法	○憲法 (2)							2 単位 必修
	情報機器の操作	○情報リテラシー (2) ○情報処理論 (2)							4 単位 必修
教員免許状取得に必要なその他の科目 (10 単位以上)	外国語コミュニケーション	○英会話 (1) ○英語リスニング・スピーキング (L1) (1)							2 単位 必修
	体育	○健康スポーツ実技 I (1) ○健康スポーツ実技 II (1)							2 単位 必修

8.その他

1 学生への連絡について

本館1階の**教務課掲示板**に以下のような連絡事項について掲示します。毎日掲示板を確認して下さい。
※**掲示板の見落としによる不利益は本人が負う**こととなりますので注意してください。

- ①時間割の変更
- ②教室の変更
- ③担当教員の変更
- ④授業担当教員からのお知らせ
- ⑤試験や補講の日時等
- ⑥授業の休講・・・担当教員が止むを得ず休講する場合があります。教員からの届け出があり次第、掲示板でお知らせします。また、災害などによる全学的な休講をお知らせする場合があります。
- ⑦成績や卒業や進級に関わる連絡や呼び出し
- ⑧その他

2 学生による授業評価アンケート

本学では、科目ごとに「授業評価アンケート」を実施します。
下記の趣旨や要領を理解の上、大いに授業評価に参加し、協力してください。

(1) 趣旨と利用方法

- ①授業内容をより充実したものにするために、それぞれの授業の現状を検討し、その改善を図る。
- ②授業に関連する施設（情報機器、体育関連施設、図書館等）をより充実したものにするためにその現状を把握し、その改善を図る。

(2) アンケートの回答方法

- ①回答用紙は無記名です。また、学生本人が特定される情報の記載はありません。したがって、誰が回答したか全くわからない設定になっています。
- ②回答が成績評価等に影響を与えることはありません。

3 入学前の既修得単位の認定

入学前に他の大学又は短期大学等において修得した単位については、審査により、30単位をこえない範囲で本学の単位として充当されます。

希望者は**1年次の授業開始日まで**に以下の申請書類を添えて教務課に提出してください。

- ①入学者の既修得単位認定願書
- ②認定希望の単位に関する証明書
- ③認定希望の単位に関する講義要項（写し）

なお、この単位認定により、修業年限の短縮・最大履修単位数の変更はありません。

4 交通機関の運転中止や天災の場合の授業と試験について

交通機関の運転中止(運転見合わせ・不通・ストライキ)や天災(台風など)等で登校できない場合の授業と試験は、下記の通りとします。

(1) 運転中止の対象とする交通機関

JR常磐快速線とJR常磐線各駅停車(千代田線)の両方が、柏駅と我孫子駅間で不通となった場合。

JR成田線、JR常磐線(快速・各駅停車)我孫子駅より取手方面、つくばエクスプレス、関東鉄道、JR武蔵野線や東武野田線などが不通となった場合は対象としません。

(2) 運転中止による授業と試験について

運転中止状況	授業・試験対応
午前6時までに解除された場合	第1時限から開始
午前9時までに解除された場合	第3時限から開始
正午までに解除された場合	第4時限から開始
正午までに解除されない場合	1日休講(試験は延期)

(3) 暴風警報等が発令された場合

暴風警報または暴風雪警報が千葉県北西部に発令された場合は、交通機関の運転中止の対応と同じとします。

他の地域に発令されても対象になりません。同様に、大雨警報、大雪警報、洪水警報のみの場合は対象としません。

- 遅刻や登校不能な場合は、交通機関の遅延証明書等を取得し、早急に学生課で手続きをして下さい。
- 試験は可能な限り実施する予定ですが、都合により実施できない場合もあります。
- 延期になった試験の実施は、後日、学内の掲示板で案内します。

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅴ(2)	初級簿記Ⅵ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
選択必修科目	商学入門講座(1)＜通年＞	流通システム論(2)	民法総論(2)	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅴ(2)	4
1年次～	初級簿記Ⅰ(2)	流通システム論(2)	民法総論(2)	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅴ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
2年次～	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
3年次～	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
4年次～	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	16 *から合計12単位選択 第7・8セメから各2単位選択
共通選択科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	第1～第8セメスター履修可能科目	72
商学系列科目	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅴ(2)	初級簿記Ⅵ(2)	初級簿記Ⅶ(2)	初級簿記Ⅷ(2)	72
必修科目	日本語表現Ⅰ(2)	日本語表現Ⅱ(2)	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅴ(2)	初級簿記Ⅵ(2)	6
人文・自然系列科目	初級簿記Ⅰ(2)	初級簿記Ⅱ(2)	初級簿記Ⅲ(2)	初級簿記Ⅳ(2)	初級簿記Ⅴ(2)	初級簿記Ⅵ(2)	初級簿記Ⅶ(2)	初級簿記Ⅷ(2)	20
外国語系列科目	英語Ⅰ(1)	英語Ⅱ(1)	英語Ⅲ(1)	英語Ⅳ(1)	英語Ⅴ(1)	英語Ⅵ(1)	英語Ⅶ(1)	英語Ⅷ(1)	6
体育科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)	健康スポーツ実技Ⅲ(1)	健康スポーツ実技Ⅳ(1)	健康スポーツ実技Ⅴ(1)	健康スポーツ実技Ⅵ(1)	健康スポーツ実技Ⅶ(1)	健康スポーツ実技Ⅷ(1)	2
留學生必修科目	日本語Ⅰ(1)	日本語Ⅱ(1)	日本語Ⅲ(1)	日本語Ⅳ(1)	日本語Ⅴ(1)	日本語Ⅵ(1)	日本語Ⅶ(1)	日本語Ⅷ(1)	4
留學生選択科目	日本語Ⅰ(1)	日本語Ⅱ(1)	日本語Ⅲ(1)	日本語Ⅳ(1)	日本語Ⅴ(1)	日本語Ⅵ(1)	日本語Ⅶ(1)	日本語Ⅷ(1)	12単位までは 人文・自然系選択科目 ～履修可

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)	経営学総論Ⅰ(2)	経営学総論Ⅱ(2)	経営管理基礎論Ⅰ(2)	経営管理応用論Ⅱ(2)	経営管理活動(2)	企業の財務活動(2)	4	
	第1～第8セメスター履修可能科目)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計APPⅡ)(2)	民法総論(2) 商学総論(2) 近代商業史(2) 初級簿記Ⅰ(2)	情報科学概論(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(実践・資産設計APPⅠ)(2) 資格取得講座Ⅱ(学友会講座Ⅰ)×(通年)	経営学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 物流学(2) 原価計算Ⅱ(2) 消費経済学(統計と政府)(2) マーケティング情報論(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(実地研修)(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通システム論(2)	経営学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(宅建主任者)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	情報科学概論(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(実践・資産設計APPⅠ)(2) 資格取得講座Ⅱ(学友会講座Ⅰ)×(通年)	マルチメディア論(2)	16 第3・4セメから各4単位選択 第5～8セメから各2単位選択
1年次～	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	72	
2年次～	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	72	
3年次～	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	72	
4年次～	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	72	
共通選択科目	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	72	
商学系列科目	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	72	
必修科目	日本語表現Ⅰ(2)	日本語表現Ⅱ(2)	英語Ⅰ(4)×(通年)	英語Ⅱ(4)×(通年)	外国語Ⅲ(2)	外国語Ⅳ(2)	外国語Ⅴ(2)	外国語Ⅵ(2)	6	
選択科目	哲学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スピッチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 女性学Ⅰ(2) 日本語作法Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2)	哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 社会学Ⅱ(2) 自然科学概論Ⅱ(2) スポーツ健康科学概論Ⅱ(2) 総合講座「スピッチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 女性学Ⅱ(2) 日本語作法Ⅱ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅱ(2)	倫理学Ⅰ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅰ(2) 総合講座「スピッチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅱ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅰ(2) 総合講座「チャレンジャー」Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 総合講座「チャレンジャー」Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 憲法(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	政治学Ⅲ(2) 地学Ⅲ(2) 人文地理学Ⅲ(2) 自然地理学Ⅲ(2) 憲法(2) 外国文化研究Ⅲ(2) 現代社会論Ⅲ(2) 文学演習Ⅲ(2)	政治学Ⅳ(2) 地学Ⅳ(2) 人文地理学Ⅳ(2) 自然地理学Ⅳ(2) 憲法(2) 外国文化研究Ⅳ(2) 現代社会論Ⅳ(2) 文学演習Ⅳ(2)	6
人文・自然系列科目	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	20	
必修科目	英会話(1)	英語リスニング&スピーキング(LL)(1)	英語リーディング&ライティング2(1)	英語リーディング&ライティング1(1)	英語特別講座1(1)	英語特別講座2(1)	英語特別講座3(1)	英語特別講座4(1)	6	
外国語系列科目	中国語1(1)	中国語2(1)	中国語3(1)	中国語4(1)	中国語5(1)	中国語6(1)	中国語7(1)	中国語8(1)	6	
選択科目	フランス語1(1)	フランス語2(1)	ドイツ語1(1)	ドイツ語2(1)	ドイツ語3(1)	ドイツ語4(1)	ドイツ語5(1)	ドイツ語6(1)	6	
体育科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅱ(1)	健康スポーツ実技Ⅲ(1)	健康スポーツ実技Ⅳ(1)	健康スポーツ実技Ⅴ(1)	健康スポーツ実技Ⅵ(1)	健康スポーツ実技Ⅶ(1)	健康スポーツ実技Ⅷ(1)	2	
留學生必修科目	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語作文1(1)	日本語作文2(1)	日本語表紙1(1)	日本語表紙2(1)	日本語表紙3(1)	日本語表紙4(1)	4	
留學生選択科目	日本語理解1(1)	日本語理解2(1)	日本語作文1(1)	日本語作文2(1)	日本語表紙1(1)	日本語表紙2(1)	日本語表紙3(1)	日本語表紙4(1)	12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可	

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター		
共通必修科目	情報処理論(2)	情報処理論(2)	*中級簿記Ⅰ(2) *上級簿記Ⅰ(2) #会計入門(2)	*中級簿記Ⅱ(2) *上級簿記Ⅱ(2) #会計制度論(2)	#財務諸表論(2)	#会計原則論(2)	#管理会計総論(2) *管理会計総論(2) *法人税務論(2)	#管理会計総論(2) *管理会計総論(2) *所得税務論(2)	4	
選択必修科目	商学部入門講座(1)<通年>	商学部入門講座(1)<通年>	民法総論(2) 商業数学(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅡ)(2)	民法総論(2) 商業数学(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅠ)(2)	経営数学(2) 日本近代・中世経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(宅建主任者)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(宅建主任者)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	16 第3・4セメから各2単位選択 第7・8セメから各2単位選択 #印の科目は必須	
1年次～	流通システム論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅡ)(2)	流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅠ)(2)	民法総論(2) 商業数学(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅡ)(2)	民法総論(2) 商業数学(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅠ)(2)	経営数学(2) 日本近代・中世経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(宅建主任者)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(宅建主任者)(4) 資格取得講座Ⅱ(2)	マルチメディアア論(2)	
2年次～	商業政策総論(2) 市場論(2) 税法Ⅰ(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総論・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 税法Ⅱ(2) 経済地理の諸問題(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2) ビジネス実践講座「株式投資論」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	産業心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 物流論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(統計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法各論(2) 国際ビジネス環境論(事前研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通システム論(2)	流通政策論(2) 市場戦略論(2) 税法Ⅱ(2) 経済地理の諸問題(2) 応用計量経済学(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発政策論(2) ビジネス実践講座「株式投資論」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 物流論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(統計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法各論(2) 国際ビジネス環境論(実地研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 物流論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(統計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法各論(2) 国際ビジネス環境論(実地研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 物流論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(統計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法各論(2) 国際ビジネス環境論(実地研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 物流論(2) 原価計算論Ⅱ(2) 消費経済学(統計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティングシステム論(2) 手形・小切手法各論(2) 国際ビジネス環境論(実地研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅱ(2) 国際流通システム論(2)	社会政策Ⅱ(2) 広告政策論(2) 企業福祉論(2) 会計情報システム論(2) 応用国民所得論(2) 経済と株論(2) 応用統計学(2) 債権法各論(2) 現代日本経済論(2) マーケティング戦略論(2)	
3年次～	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メチアデザイン(2) 経済原論(近代経済学Ⅰ)(2) 経済原論(マルクス経済学Ⅰ)(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) フログラミングⅠ(COBOL)(2) フログラミングⅡ(Java)(2)	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メチアデザイン(2) 経済原論(近代経済学Ⅰ)(2) 経済原論(マルクス経済学Ⅰ)(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) フログラミングⅠ(COBOL)(2) フログラミングⅡ(Java)(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション論(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション論(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション論(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易論(2) 国際ビジネス論(2) 国際通関(2) コンピュータコミュニケーション論(2)	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メチアデザイン(2) 経済原論(近代経済学Ⅰ)(2) 経済原論(マルクス経済学Ⅰ)(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) フログラミングⅠ(COBOL)(2) フログラミングⅡ(Java)(2)	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メチアデザイン(2) 経済原論(近代経済学Ⅰ)(2) 経済原論(マルクス経済学Ⅰ)(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) フログラミングⅠ(COBOL)(2) フログラミングⅡ(Java)(2)	財務諸表分析(2) 福祉国家の歴史的背景(2) メチアデザイン(2) 経済原論(近代経済学Ⅰ)(2) 経済原論(マルクス経済学Ⅰ)(2) 経済学史(経済学の誕生)(2) フログラミングⅠ(COBOL)(2) フログラミングⅡ(Java)(2)	72
4年次～	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 現代経済政策(2) 国際ビジネス実践(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) データベース(2) コンテツツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理応用論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) システム設計論(2) 経営科学(2) 流通戦略論Ⅱ(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 現代経済政策(2) 国際ビジネス実践(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) データベース(2) コンテツツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2) 演習Ⅳ(4)<通年> 外国書講読Ⅲ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2) 演習Ⅳ(4)<通年> 外国書講読Ⅲ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2) 演習Ⅳ(4)<通年> 外国書講読Ⅲ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 情報環境論(2) e-コマース(2) 経営組織論Ⅰ(2) 演習Ⅳ(4)<通年> 外国書講読Ⅲ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) データベース(2) コンテツツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) データベース(2) コンテツツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)	経営学総論Ⅰ(2) 経営学総論Ⅱ(2) 経営管理基礎論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティング業務(2) 応用公共経済学(2) コンピュータの構成(2) コミュニケーション(2) 流通戦略論Ⅰ(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 国際ビジネス実務(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) ネットワーク論(2) データベース(2) コンテツツ開発(2) 経営組織論Ⅱ(2)	6
人文・自然系系列科目	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会学Ⅰ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史Ⅰ)(2) 歴史学(日本史Ⅰ)(2) 総合講座「アクティブセンターⅠ」(2) 総合講座「チャレンジ就職Ⅰ」(2) 文化人類学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史Ⅰ)(2) 歴史学(日本史Ⅰ)(2) 総合講座「アクティブセンターⅠ」(2) 総合講座「チャレンジ就職Ⅰ」(2) 文化人類学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史Ⅰ)(2) 歴史学(日本史Ⅰ)(2) 総合講座「アクティブセンターⅠ」(2) 総合講座「チャレンジ就職Ⅰ」(2) 文化人類学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史Ⅰ)(2) 歴史学(日本史Ⅰ)(2) 総合講座「アクティブセンターⅠ」(2) 総合講座「チャレンジ就職Ⅰ」(2) 文化人類学Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会学Ⅱ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会学Ⅱ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会学Ⅱ(2)	20
外国語系系列科目	英語リーディングライティングⅠ(1) 英語リスニングスピーキングⅠ(1) 中国語Ⅰ(1) フランス語Ⅰ(1) ドイツ語Ⅰ(1) ロシア語Ⅰ(1) 健康スポーツ実技Ⅰ(1)	英語リーディングライティングⅠ(1) 英語リスニングスピーキングⅠ(1) 中国語Ⅰ(1) フランス語Ⅰ(1) ドイツ語Ⅰ(1) ロシア語Ⅰ(1) 健康スポーツ実技Ⅰ(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1)	6
体育科目	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	健康スポーツ実技Ⅰ(1)	2	
留學生必修科目	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	4 [人文・自然系列選択科目] へ振替可	
留學生選択科目	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	日本語表現Ⅰ(1) 日本語表現Ⅱ(1)	12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可	

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数		
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター			
共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)							4		
選択必修科目	商学総論(2) 初級簿記Ⅰ(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(実務・資産設計AFPⅡ)(2)	民法総論(2) 商業数学(2) 資格取得講座(キャリア・コーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2) (第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 税法Ⅰ(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計算経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総論・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「株式会社投資論」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	物情法(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) *経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) *経済学史(経済の発展)(2) #経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) #経済学史(経済の発展)(2) #入門公共経済学(2) #応用公共経済学(2)	情報科学概論(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(実務・資産設計AFPⅠ)(2) 資格取得講座Ⅱ(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2) 資格取得講座Ⅱ(2)	経営学(2) 人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 企業文化論(2) 物流学(2) 原価計算Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(事前研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	情報科学概論(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(実務・資産設計AFPⅠ)(2) 資格取得講座Ⅱ(2)	現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 商学部卒業講座(実務・資産設計AFPⅠ)(2) 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	16 第3・4セメスターから各2単位選択 第7・8セメスターから各2単位選択 #印の科目は必須	
共通選択科目	(第1～第8セメスター履修可能科目) 流通システム論(2) 初級簿記Ⅱ(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実務・資産設計AFPⅡ)(2)	民法総論(2) 商業数学(2) 資格取得講座(キャリア・コーディネーター3級)(2) 資格取得講座(秘書技能検定2級)(2) (第3～第8セメスター履修可能科目) 商業政策総論(2) 市場論(2) 税法Ⅰ(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計算経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総論・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「株式会社投資論」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅠ」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームⅡ」(2)	物情法(2) 経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) *経済原論(マルクス経済学)Ⅱ(2) *経済学史(経済の発展)(2) #経済原論(近代経済学)Ⅱ(2) #経済学史(経済の発展)(2) #入門公共経済学(2) #応用公共経済学(2)	情報科学概論(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(実務・資産設計AFPⅠ)(2) 資格取得講座Ⅱ(2)	経営数学(2) 日本近代・近・現代経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(MOS Excel)(2) 資格取得講座Ⅱ(2)	経営学(2) 人事教育心理学(2) リスク・マネジメント論Ⅱ(2) 企業文化論(2) 物流学(2) 原価計算Ⅱ(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法総論(2) 国際ビジネス環境論(事前研修)(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 経済法Ⅰ(2) 国際流通論(2)	情報科学概論(2) 情報社会と倫理(2) 資格取得講座(実務・資産設計AFPⅠ)(2) 資格取得講座Ⅱ(2)	現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 商学部卒業講座(実務・資産設計AFPⅠ)(2) 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 商学部卒業講座Ⅱ(学友会講座)(1)<通年>	72	
商学系列科目											
3年次～											
4年次～											
必修科目	日本語表現Ⅰ(2) プロゼミナール(2)<通年> 哲学Ⅱ(2) 論理学Ⅰ(2) 社会学Ⅰ(2) 自然科学概論Ⅰ(2) スポーツ健康科学概論Ⅰ(2) 総合講座「スビーチ&コミュニケーション」Ⅰ(2) 女性学Ⅰ(2) 日本語作法Ⅰ(2) 総合講座「現代社会を考える」Ⅰ(2) 英会話(1) 英語リーディング・ライティングⅠ(1) 英語リーディング・ライティングⅡ(1)	倫理学Ⅱ(2) 言語学Ⅰ(2) 基礎法学Ⅱ(2) 心理学Ⅰ(2) 総合講座「人間と自然」Ⅱ(2) 総合講座「スビーチ&コミュニケーション」Ⅱ(2) 生物学Ⅰ(2) 平和学Ⅰ(2)	経済学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅰ(2) 総合講座「チャレンジ就職」Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	経済学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 総合講座「チャレンジ就職」Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	経営学Ⅰ(2) 数学Ⅰ(2) 物理学Ⅰ(2) 歴史学(世界史)Ⅰ(2) 歴史学(日本史)Ⅰ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅰ(2) 総合講座「チャレンジ就職」Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2)	経営学Ⅱ(2) 数学Ⅱ(2) 物理学Ⅱ(2) 歴史学(世界史)Ⅱ(2) 歴史学(日本史)Ⅱ(2) 総合講座「アクティブセンター」Ⅱ(2) 総合講座「チャレンジ就職」Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)	政治学Ⅰ(2) 地学Ⅰ(2) 人文地理学Ⅰ(2) 自然地理学Ⅰ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅰ(2) 現代社会論Ⅰ(2) 文学演習Ⅰ(2)	政治学Ⅱ(2) 地学Ⅱ(2) 人文地理学Ⅱ(2) 自然地理学Ⅱ(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究Ⅱ(2) 現代社会論Ⅱ(2) 文学演習Ⅱ(2)	6
外国語系列科目	中国語2(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) ロシア語1(1) 健康スポーツ実技Ⅰ(1)	英語特別講座1(1) 英語上級講座1(1) 中国語3(1) フランス語3(1) ドイツ語3(1) ロシア語3(1) 健康スポーツ実技Ⅱ(1)	英語特別講座2(1) 英語上級講座2(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1) 健康スポーツ実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅰ(1) 日本事情A(2)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1) 中国語4(1) フランス語4(1) ドイツ語4(1) ロシア語4(1) 健康スポーツ実技Ⅱ(1) 生涯スポーツ実技Ⅱ(1) 日本事情B(2)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	英語特別講座4(1) 英語上級講座4(1)	6	
体育科目											
留學生必修科目											
留學生選択科目	日本語読解1(1) 日本語作文1(1) 日本語表記1(1) 日本語会話1(1)	日本語読解2(1) 日本語作文2(1) 日本語表記2(1) 日本語会話2(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	日本語上級1(1) 日本語上級2(1) 日本語特講1(1) 日本語理解1(1)	12単位までは 人文・自然系系列選択科目 へ振替可		

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業所要単位数
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
共通必修科目	情報リテラシー(2)	情報処理論(2)							4
選択必修科目	第1～第8セメスター履修可能科目 商学総論(2) 流通システム論(2) 初級簿記I(2) 資格取得講座(日商簿記2級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅡ)(2)	民法総論(2) 商業数学(2) 初級簿記II(2) 資格取得講座(日商簿記3級)(4) 資格取得講座(実践・資産設計AFPⅠ)(2)	コンピュータコミュニケーション(2) プログラミングI(COBOL)(2) プログラミングI(C)(2) プログラミングI(Java)(2)	物権法(2) 教理計画法(2) 資格取得講座(キャリアコーディネーター3級)(4) 資格取得講座(IMOS Word)(2)	経営数学(2) 日本古代・中世経済史(2) 資格取得講座(行政書士)(4) 資格取得講座(IMOS Excel)(2)	システム設計論(2) ネットワーク論(2) Webデータベース(2)	シミュレーション(2) e-コマース(2)	経営科学(2) コンテンツ開発(2)	16 第3・4セメから各4単位選択 第5～7セメから各2単位選択
	第1～第8セメスター履修可能科目 商業政策総論(2) 市場論(2) 税法I(2) 経済地理の諸問題(2) 入門計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 商法総則・会社法総論(2) 労働法の基礎(2) 開発経済学(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームI」(2) ビジネス実践講座「マネジメント・ゲームII」(2)	商業政策論(2) 市場戦略論(2) 税法II(2) 経済地理の諸問題(2) 応用計量経済学(2) ソフトウェア論(2) 会社法各論(2) 労働法の応用(2) 開発経済学(2) 海外研修特別講座「株式投資論」(2) 海外研修特別講座「マネジメント・ゲームI」(2) 海外研修特別講座「マネジメント・ゲームII」(2)	産業心理学(2) リストラ・マネジメント論I(2) 物流論(2) 原価計算論(2) 消費経済学(家計と政府)(2) 現代金融論(2) マーケティング情報論(2) 手形・小切手法各論(2) 海外研修特別講座(実地研修)(2) 海外研修特別講座(事前研修)(2) 経済法I(2) 国際流通システム論(2)	人事管理(2) 監査報告論(2) 現代中小企業論(2) 近代商業史(2) 国際貿易論(2) 国際企業論(2) 国際通貨(2) 中級簿記I(2) 中級簿記II(2) 上級簿記I(2) 上級簿記II(2)	経営学総論(2) 経営管理応用論(2) 国際ビジネス戦略論(理論編)(2) 国際マーケティングの基礎論(2) 財務諸表論(2) 入門公共経済学(2) 流通戦略論I(2) 企業の財務活動(2) ビジネスコミュニケーション論(2) 管理会計総論(2) 所得税務会計(2) 近代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の歴史)(2) 経営組織論I(2) 演習III(4)<通年> 外国語講義3(2)	企業評価論(2) 福祉国家の歴史的背景(2) 企業評価論(2) 会計制度論(2) 経済原論(近代経済学I)(2) 経済原論(マルクス経済学)I(2) 経済学史(経済学発展)(2) メディアデザイン(2)	企業評価論(2) 福祉国家の歴史的背景(2) 企業評価論(2) 会計制度論(2) 経済原論(近代経済学)II(2) 経済原論(マルクス経済学)II(2) 経済学史(経済学発展)(2) メディアデザイン(2)	経営学総論II(2) 経営管理応用論(2) 国際ビジネス戦略論(実践編)(2) 国際マーケティング業務(2) 会計原則論(2) 応用公共経済学(2) 流通戦略論II(2) 財務的意思決定(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 管理会計論(2) 法人税務会計(2) 現代経済政策(2) 国際経済論(世界経済の理論)(2) 経営組織論II(2)	72
共通選択科目									
3年次～									
4年次～									
必修科目	日本語表現I(2) プロセシナル(2)<通年>	日本語表現II(2)							6
人文・自然 系列科目	哲学I(2) 論理学I(2) 社会学I(2) 自然科学概論I(2) スポーツ健康科学概論I(2) 女性学I(2) 日本語作法I(2) 総合講座「現代社会を考える」I(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	哲学II(2) 論理学II(2) 社会学II(2) 自然科学概論II(2) スポーツ健康科学概論II(2) 女性学II(2) 日本語作法II(2) 総合講座「現代社会を考える」II(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	経済学I(2) 数学I(2) 物理学I(2) 歴史学(世界史)I(2) 歴史学(日本史)I(2) 総合講座「クアチアセンター」I(2) 総合講座「チャレンジャー」I(2) 文化人類学I(2)	経済学II(2) 数学II(2) 物理学II(2) 歴史学(世界史)II(2) 歴史学(日本史)II(2) 総合講座「クアチアセンター」II(2) 総合講座「チャレンジャー」II(2) 文化人類学II(2)	政治学I(2) 地学I(2) 人文地理学I(2) 自然地理学I(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究I(2) 現代社会論I(2) 文学演習I(2)	政治学II(2) 地学II(2) 人文地理学II(2) 自然地理学II(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究II(2) 現代社会論II(2) 文学演習II(2)	政治学I(2) 地学I(2) 人文地理学I(2) 自然地理学I(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究I(2) 現代社会論I(2) 文学演習I(2)	政治学II(2) 地学II(2) 人文地理学II(2) 自然地理学II(2) 憲法(2) 自然環境論(2) 外国文化研究II(2) 現代社会論II(2) 文学演習II(2)	20
	総合講座「現代社会を考える」I(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」II(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」I(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」II(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」I(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」II(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」I(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」II(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)	総合講座「現代社会を考える」I(2) 英語話(1) 英語リーディングライティング1(1) 英語リーディングライティング2(1)
外国語 系列科目	中国語1(1) フランス語1(1) ドイツ語1(1) ロシア語1(1) 韓国語1(1)	中国語2(1) フランス語2(1) ドイツ語2(1) ロシア語2(1) 韓国語2(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	英語特別講座3(1) 英語上級講座3(1)	(4)(商学系列履修可) (4)(商学系列履修可) (4)(商学系列履修可) (4)(商学系列履修可) (4)(商学系列履修可)
体育科目	健康スポーツ実技I(1)	健康スポーツ実技II(1)							2
留學生必修科目									4
留學生選択科目									12単位までは 人文・自然系列選択科目 へ振替可

